

令和6年度使用

小 学 校 教 科 用 図 書 の  
選 定 に 必 要 な 資 料

出雲採択地区教科用図書採択協議会

※ 各発行者記号は、以下のとおりである。

記号	発行者名	記号	発行者名
A	東京書籍	I	光村図書出版
B	大日本図書	J	帝国書院
C	開隆堂出版	K	新興出版社啓林館
D	学校図書	L	日本文教出版
E	三省堂	M	大修館書店
F	教育出版	N	文教社
G	教育芸術社	O	光文書院
H	信州教育出版社	P	G a k k e n

## 選 定 に 必 要 な 資 料

【 科目名 国語 】 No. 1

記号	選定に必要な資料の観点						総括
	1. 内容、程度、分量等	2. 教材の選択や構成等	3. 興味・関心への配慮等	4. 教科の特性、地域の実態や課題への適合等	5. 各教科等及び実生活との関連についての工夫	6. その他	
A	<p>○5・6年では、中学校への移行を考慮し、また、自主的・主体的に既習事項を確認しやすくするため、分冊でなく1冊の教科書で対応している。</p> <p>○1年上では、助詞の働きを視覚的にとらえて理解しやすいよう、更に工夫されている。(1年上 p. 36, 44, 54)</p>	<p>○2年以上は4月を学習の基盤づくりの期間として、対話、情報の扱い、音読、ノート作り、図書館活用を単元の中に位置づけている。</p> <p>○説明文の次に事実と考えの違いや相手を意識した意見文の書き方の学習(「情報のとびら」)が配列されている。(5年 p. 228)</p>	<p>○「話す・聞く」や「書く」単元では、氏名まで設定されたキャラクターが登場し、児童が親近感をもって学習できるよう工夫されている。(6年上 p. 116)</p> <p>○説明文では内容の理解を助ける写真や挿絵が多く、児童の興味・関心につなげる工夫がされている。(2年 p. 8)</p>	<p>○「地域のみりよくを伝えよう」では、自分が住む地域を調査し、記事にすることで、ふるさと教育の視点につながる内容になっている。(5年 p. 58)</p> <p>○高学年では、複数の資料を読み取って多角的な見方や自分の考えをもつ力をつける工夫がされている。(5年 p. 238)</p>	<p>○「はたらく人に話を聞こう」では、学校で働く人にインタビューする言語活動が設定され、生活科の町探検との関連が図られている。(2年上 p. 34)</p> <p>○高学年では、インターネットなど、現代社会におけるメディアリテラシーを獲得する単元が設定されている。</p>	<p>○読書単元「○年生の本棚」では、著名人のエッセイなど、読書への興味関心を高める工夫がされている。</p> <p>○文字習得でつまずきやすい特殊音節や助詞の学習負担を軽減できるよう、「多層指導モデル(MIM)」を取り入れている。(1年上)</p>	<p>○2年以上は単元の始めに「見通す・取り組む・ふり返る」の3段階で学習の流れが示されている。単元で身に付ける言葉の力が提示され、学習計画に活用できるよう工夫されている。</p> <p>○多数のデジタルコンテンツやWeb問題が準備されており、教材理解につながる支援が手厚い。</p> <p>○特に優れている。</p>
F	<p>○全学年で分冊を採用することで軽量化され、内容が複雑・高度化する高学年においても、ゆったりとした紙面構成となっている。</p> <p>○1年上では、「たのしくよもう」1～3など、詩をリズムよく読むことを通じて、すべての仮名文字を楽しく学習する工夫がされている。(1年上 p. 38, 54ほか)</p>	<p>○説明文については、「書くこと」に加えて「話すこと・聞くこと」とも関連させるなど、論理や情報を生かす工夫がされている。(5年下 p. 90, 104)</p> <p>○プログラミング的思考など、これからの時代に求められる学力を育むための教材が盛り込まれている。(2年下 p. 20)</p>	<p>○「話す・聞く」や「書く」単元では、氏名まで設定された統一キャラクターが登場し、児童が親近感をもって学習できるよう工夫されている。(3年下 p. 22)</p> <p>○「まんがの方法」では、身近な漫画の手法を通して書き手の工夫に注目し、自分の考えの表現の仕方を工夫する力を育む配慮がされている。(5年下 p. 90)</p>	<p>○「ちいきの行事」では、地域について調べて発表する言語活動が設定され、具体的な行事やそれに携わる人々の思いや願いに触れることができる内容となっている。(3年下 p. 98)</p> <p>○「強く心にのこっている」では、「始め・中・終わり」の構成に沿って自分の言葉で文章に書く過程を重視している。(3年下 p. 98)</p>	<p>○『「生きものクイズ」で知らせよう』では、生活科と関連を図り、見つけた生きものクイズを作って知らせ合う言語活動が設定されている。(2年上 p. 62)</p> <p>○「わたしたちの絵文字」では、前単元の学習を生かし、学校生活で絵文字を活用することについて友達と話し合う活動が設定されている。(3年下 p. 22)</p>	<p>○五十音表を読む際、色調とバランスだけでなく、形でも区別しやすいよう配慮され、負担軽減が図られている。(1年上 p. 40)</p> <p>○「くらしを便利にするために」などで、バリアフリー、手話などを取り上げ、多様化する社会への理解を図っている。(4年下 p. 82)</p>	<p>○巻頭の「○年生で学ぶこと」では、何を学びどくのか系統的に示され、学習の見通しと生かし方が具体的に示されている。</p> <p>○単元末の手引きでは、上段に学習の流れ、下段に児童の反応が示され、単元全体の流れを具体的に見通せるよう工夫されている。</p> <p>○優れた教科書である。</p>

## 選 定 に 必 要 な 資 料

【 科目名 国語 】 No. 2

記号	選定に必要な資料の観点						総括
	1. 内容、程度、分量等	2. 教材の選択や構成等	3. 興味・関心への配慮等	4. 教科の特性、地域の実態や課題への適合等	5. 各教科等及び実生活との関連についての工夫	6. その他	
I	<p>○5・6年では、中学校への移行を考慮し、また、自主的・主体的に既習事項を確認しやすくするため、分冊でなく1冊の教科書で対応している。</p> <p>○「すきなこと、なあに」では、友達に話したことを文章に書く活動を設定することで、書くことへの抵抗が軽減できるよう工夫されている。(1年上p.80)</p>	<p>○2年以上の「きせつのことば」では、季節に関する語句や詩、文章がイラストと共に掲載され、季節感を味わえるよう工夫されている。</p> <p>○「帰り道」「友情のかへ新聞」など、児童が多様な解釈に触れることができるような物語が選択されている。(4年下p.65、6年p.25)</p>	<p>○「話す・聞く」や「書く」単元では、統一キャラクターが登場し、児童が親近感をもって内容にも興味・関心を抱きやすくなっている。(6年p.217)</p> <p>○「カンジューはかせの都道府県の旅」では、漢字の書き取りだけでなく、各都道府県の特産や名物、文化に関心を高め、愛着や誇りをもてる内容になっている。(4年上p.50)</p>	<p>○地域に伝わる民話や神話として「いなばの白うさぎ」が紹介され、地域の文化に関心を高め、愛着や誇りをもつことができる内容になっている。(2年上p.62)</p> <p>○「図を使って考えよう」で、図やグラフ等の情報資料の利点や使い方を学ぶことで、情報活用能力の育成につながるよう工夫されている。(6年p.311-312)</p>	<p>○「みの回りのものを読もう」では、看板やポスターを取り上げ、身近な生活の中にある情報や伝え方を扱っている。(2年上p.118)</p> <p>○「こんな係がクラスにほしい」では、学級の身近な課題に取り組み、対話することの価値を実感することで、コミュニケーション能力の育成が図られるよう工夫されている。(3年上p.122)</p>	<p>○一年間の目標を巻頭に配置し、巻末では一年間で身につけた力を文字化して、今後の学習に見通しがもてるように配慮されている。</p> <p>○2年以上の上巻冒頭に「ことばのじゅんびうんどう」が設定され、学級づくり仲間づくりにつながる内容が取り上げられている。</p>	<p>○単元冒頭に問いを引き出す発問を載せ、一人一人の問いを目標につなぐことで、子どもの問いから学習が始まる主体的な学びの実現を図っている。</p> <p>○説明文では、「れんしゅう」と主教材の2教材で段階的に学んだり、「読むこと」で学んだことを「書くこと」につないでいりして、情報を読み活用する力が高まるよう工夫されている。</p> <p>○優れた教科書である。</p>

## 選 定 に 必 要 な 資 料

【 科目名 書写 】 No. 1

記号	選定に必要な資料の観点						総括
	1. 内容、程度、分量等	2. 教材の選択や構成等	3. 興味・関心への配慮等	4. 教科の特性、地域の実態や課題への適合等	5. 各教科等及び実生活との関連についての工夫	6. その他	
A	<p>○全学年とも半紙と同じ比率のB5変形サイズであり、使いやすい。</p> <p>○低学年では、始筆や終筆、折れの部分等を星印などで示すことで、一人でも繰り返し書き方を確かめられるように工夫されている。</p>	<p>○「学びを生かそう」では、読み手を想定しながら、一年間の学びを生かすことができるよう工夫されている。</p> <p>○漢字とひらがながバランスよく教材化されている。また、1文字から5文字まで、さまざまな文字数の教材が示され、用紙にあった文字の配置について学べる。</p>	<p>○「硬筆の中から課題を見つける」→「毛筆で確かめる」→「硬筆に生かす」という流れで統一され、めあてがはっきりともてるよう工夫されている。</p> <p>○2年以上の表紙裏の漫画は、書写を学ぶことの意味を考えさせる上で効果的な導入の工夫である。</p>	<p>○3年以上の毛筆の教材では、朱墨と薄墨を使った図が示され、穂先の動きや筆圧のかけ方に気づけるようになっていく。</p> <p>○3年 p.18「文字といっしょに」では、石州半紙が採り上げられ、ふるさと島根への誇りや愛着を育むことができる。</p>	<p>○2年以上の「生活に広げよう」では、他教科や実生活における学んだことの生かし方が紹介され、学習への興味・関心を高める上で効果的である。</p> <p>○3年以上では、国語との関連をリンクマークで示してあり、教科横断的に学習に取り組めるよう工夫されている。</p>	<p>○動画は、音声での解説が丁寧で、視覚情報を的確に補完するつくりになっている。</p> <p>○「文字といっしょに」(5年 p.38、6年 p.38)では、世界の文字や文字の歴史など、知識欲を刺激するしかけがされている。</p>	<p>○各教材に「書写のかぎ」が示され、知識や技能を段階的に獲得できるようにしてある。まとめのページも充実しており、一年間の学びを振り返ることができる。</p> <p>○どのページも適度な情報量で構成され、学習のポイントが分かりやすい紙面構成である。</p>
F	<p>○全学年B5判、右ページに単元名と文字のみを、左ページにポイントを配置している。</p> <p>○巻頭に授業の様子や手書きの文字のカラー写真を配置し、学習の見通しをイメージできるように工夫している。</p> <p>○様々な点画を、段階を追って無理なく学べるよう、教材が配置されている。</p>	<p>○1年生では、「ますのなかのかくところ」を教材として取り上げ、小さく書く文字の位置を確しやすいう工夫している。</p> <p>○あこがれ(5年)、横画(3年)では、見開き2ページにわたり、穂先の動きを写真や図で示し、ポイントが丁寧に説明され分かりやすい。</p>	<p>○友だちの名前や好きな俳句など、学びを生かして自分で選んだ言葉をかけるように促している。(1年、3年)</p> <p>○4年「文字の組み立て方」では、自分の課題にあった学習方法が選択できるよう工夫されている。</p> <p>○3年では、毛筆を学習する意義を漫画や写真で説明することで、児童の学習意欲が高まるように工夫している。</p>	<p>○3年以上では、筆圧を3段階に分け、数字と図で分かりやすく示したり、朱墨と薄墨を使った図を大きく配置したりすることによって、穂先の動きや筆圧のかけ方がとても捉えやすくなっている。</p> <p>○5年、6年「知りたい文字の世界」では、生活とのつながりから、文字文化への興味・関心を高めるような工夫されている。</p>	<p>○「レッツトライ」では、習得した書写の力を他教科で使う学習を示し、関連を図ることができるように工夫されている。</p> <p>○「はってん」では、先の学年の学習への興味・関心や見通しがもてるように工夫されている。(2年、6年)</p> <p>○書く時の姿勢や筆記具による持ち方の違いなどが非常に分かりやすく示されている。</p>	<p>○手書きに近いUDフォントの採用、判別しやすい配色やレイアウトなど、全ての児童にとって学びやすい配慮がなされている。</p> <p>○デジタルコンテンツが豊富で、学年に応じて効果的に活用できる。</p> <p>○ふりかえりの場面で対話的な学びができるように工夫されている。</p>	<p>○全学年とも、情報量が豊富で、学習のポイントを詳しく丁寧に説明している。</p> <p>○「試し書き」→「考える」→「確かめ」→「まとめ書き」の順で学習を構成し、自己の変容を確かめることができるようになっている。</p> <p>○他には見られない斬新な表紙のデザインで、学習への期待感をかき立てている。</p> <p>○優れた教科書である。</p>

## 選 定 に 必 要 な 資 料

【 科目名 書写 】 No. 2

記号	選定に必要な資料の観点						総括
	1. 内容、程度、分量等	2. 教材の選択や構成等	3. 興味・関心への配慮等	4. 教科の特性、地域の実態や課題への適合等	5. 各教科等及び実生活との関連についての工夫	6. その他	
I	<p>○全学年、半紙と同じ比率のB5変型判で、新しい学びとなる1年と3年には「スタートブック」をつけ、イラストや写真を用いて分かりやすく説明している。</p> <p>○1年では、「のんびりぐるりん」「よこへ、くるりん」など、印象に残りやすい言葉が用いられている。</p>	<p>○「たいせつ」では、学習事項のポイントを端的に示し、分かりやすい説明をしている。巻末にもまとめてあり、学習の系統性がわかるようになっている。</p> <p>○毛筆の筆圧について、数字を使って分かりやすく示している。</p> <p>○筆使いについて、穂先の絵とイラスト、写真を使って分かりやすく説明されている。</p>	<p>○動物のキャラクターによる点画、筆使いのヒントが示させており、児童が親しみを持ちながら興味を持って学べるように工夫されている。</p> <p>○6年「私の文字」では、著名人の文字とメッセージを紹介し、自分の文字を肯定的にとらえて学ぶ意欲につながるように工夫されている。</p>	<p>○「しゅしゃたいそう」「せいたいそう」により、手指の運動やよい姿勢の大切さをとらえることができるようになってきている。</p> <p>○4年「やってみよう」では、近隣の地域を題材とした教材を設け、読み手を意識して書写の学びを活用することができるように配慮されている。</p>	<p>○国語教材と一体化した教材を取り上げ、国語科や生活との関連を図ることができるように工夫されている。</p> <p>○全学年の「ことば」により、日常の言葉や物語、短歌、俳句を書いて、言葉の美しさを味わい、学びを生かすことができるようになってきている。</p>	<p>○全学年でSDGsに関連する情報を取り上げ、今日的な課題に対応している。</p> <p>○多様に用意されたデジタルコンテンツにより、授業の効率化が図れる。</p> <p>○動画は、上からだけでなく斜めからのアングルもあり、穂先の動きや力の入れ方が分かりやすい。</p>	<p>○全学年を通じて、1ページあたりの情報量が精選しており、学習のポイントが明確である。</p> <p>○全体的に無駄なものを削ぎ落としたすっきりとした印象の紙面構成である。</p> <p>○学習の進め方を「考えよう」→「確かめよう」→「生かそう」の3段階に絞っており、分かりやすい。(3年以上)</p>

## 選 定 に 必 要 な 資 料

【 科目名 社会 】 No. 1

記号	選定に必要な資料の観点						総括
	1. 内容、程度、分量等	2. 教材の選択や構成等	3. 興味・関心への配慮等	4. 教科の特性、地域の実態や課題への適合等	5. 各教科等及び実生活との関連についての工夫	6. その他	
A	<p>○「学びのポイント」により、授業でどのような活動を行えばよいか分かりやすく示している。(3年p. 25※各学年に掲載)</p> <p>○社会科の4つの「見方・考え方」が、キャラクターのイラスト示され、個々の見方・考え方を働かせやすくなっている。(3年p. 24※各学年に掲載)</p>	<p>○「いかす」で、実生活にどう返していくのかを多面的な意見をもとに考える構成ができています(6年政治・国際編p. 106-107)</p> <p>○「まとめる」段階でのQRコードを活用すると、発達や内容にあったまとめ方を示すワークシートや思考ツール等が準備できるようになっています。(5年上p31)</p>	<p>○学習場面に応じて活用できる多様な資料が用意されており、興味・関心を高められるよう工夫されている。(4年p. 131)</p> <p>○「いかす」場面では、学習したことを活用して社会的な事柄に参画したり提案発信したりする学習活動が紹介されている。(3年p. 114-115)</p>	<p>○4年「きょう土の伝統・文化と先人たち」では、松江城の取り壊しの危機を救った人々のことや松江城を生かしたまちづくりの事例が取り上げられている。(4年p. 128-129)</p> <p>○6年「今に伝わる室町文化」では、雪舟が島根県を訪れたことが記載されている。(6年歴史編p. 55)</p>	<p>○「教科書関連マーク」で、他の教科との関連が明示されており、教科横断的な視点から学習に取り組むことができるよう配慮されている。(4年p. 142)</p> <p>○「〇〇さんの話」を紙面や動画で設け、共感的に人の生き方について学ぶことができるよう工夫されている。(5年上p. 101)</p>	<p>○4年の表紙には「津和野町の子鷲踊り」が、6年生では「石見銀山」(6年歴史編p. 73)が取り上げられている。</p> <p>○資料や本文を厳選してあり、集団での学びが深まりやすくなるよう工夫してある。(6年歴史編p. 44-45)</p>	<p>○「つかむ」「調べる」「まとめる」「いかす」に分けて記載し、児童が課題解決のどの過程なのかを見通しをもつことができるようにしてあること、資料等のデータが必要最小限にしてあることから、どのような教員でも児童の課題解決活動を円滑に進めることができる優れた教科書である。</p>
F	<p>○全学年巻頭に「社会科で使う見方・考え方の解説ページがあり、キャラクターが「見方・考え方の働かせ方のヒントを語る形になっている。(3年p. 5, 21)</p> <p>○全学年巻頭の「社会科の学習を広げる」に、ICTの活用例が、写真やイラスト、動画で紹介されている。(4年p. 2-3)</p>	<p>○「自分で調べて考える」では、児童が資料を選んで「ポイント」を手がかりに読み取り、個に応じた主体的な学びを促す配慮がされている。(5年p. 41)</p> <p>○歴史年表は、開くと古代から現代まで見える形になっている。また、裏面にイラストマップが掲載されている。(6年p. 74-76)</p>	<p>○6年の歴史学習のページには、白黒写真をカラー化した画像資料があり、学習意欲を高める工夫がされている。(6年p. 220)</p> <p>○デジタルコンテンツ(まなびリンク)が示された所では、動画視聴やクイズができ、興味・関心を高める工夫がされている。(4年p. 10)</p>	<p>○5年「日本の国土とわたしたちの暮らし」では、竹島が島根県にあること、韓国が法占拠している等、特設ページに記載されている。(5年p. 17, -8)</p> <p>○6年「私たちの暮らしを支える政治」では、人口減少をめぐる課題解決の例として松江市のコミュニティバスの事例が記載されている。(6年p. 44)</p>	<p>○3年の巻頭では生活科からの接続を生かせる特設ページがあり、社会科への関心や期待が高まるよう配慮がされている。(3年p. 4)</p> <p>○4年「健康な暮らしとまちづくり」では、まとめとして、学習したことを暮らしに役立てる方法を考えるページがあり、実生活へ生かせる内容になっている。(4年p. 70-71)</p>	<p>○5年「自動車の生産にはげむ人々」では、感染症の蔓延に伴う産業の課題について取り上げられている。(5年p. 133)</p> <p>○3年の巻末では、「わくわく社会科ガイド」のページがあり、調べ方やまとめ方が例示されている。(3年p. 164)</p>	<p>○「次につなげよう」で次時の問いが想起できるようになっており、単元を通した追及ができるようになっている。また、「自分で調べて考える」で個に応じた主体的な学びができるようになっているので、よい教科書である。しかし、キーワードについての説明がないので説明があるとよい。</p>

## 選 定 に 必 要 な 資 料

【 科目名 社会 】 No. 2

記号	選定に必要な資料の観点						総括
	1. 内容、程度、分量等	2. 教材の選択や構成等	3. 興味・関心への配慮等	4. 教科の特性、地域の実態や課題への適合等	5. 各教科等及び実生活との関連についての工夫	6. その他	
L	<p>○社会科の学習の進め方を3つのインデックス「問題を発見する力」、「問題を追究・かいつする力」、「問題をほりさげ・よりよい未来をつくる力」で例示し、見通しをもって学習に臨めるように配慮されている。(3年 p. 2)</p> <p>○本文を学習活動、学習内容、友達の発言3つの役割に分けて、文章を正確に読み取れるようにしている。(5年 p. 10)</p>	<p>○ごみ処理の大切な工程の説明や、大分市の「3きり運動」の紹介により、児童が生活の中で具体的な取組を想像しやすいよう工夫されている。(4年 p. 40-43, 48)</p> <p>○同じ小単元に地形と気候の両方を取り上げることによって、地形と気候とを関係づけて考えることができるよう工夫してある。(5年 p. 20-p. 29)</p>	<p>○47 都道府県についてのすごろくがデジタルコンテンツとして設定しており、都道府県の位置や名称、特色に親しむことができるよう工夫されている。(4年 p. 8)</p> <p>○学習する過程で新たに出た疑問を「さらに考えたい問題」として例示し、各単元の学びがさらに深まるよう工夫されている。(5年 p. 263)</p>	<p>○隠岐国から都に送られた税の荷札が掲載されており、郷土の歴史に関心を向けられるよう工夫されている。(6年 p. 94)</p> <p>○大正時代の自由と権利を求める動きについて、山田考野次郎や平塚らいてうの訴えを大きく取り上げており、人権・同和教育の学習として活用しやすいような内容となっている。(6年 p. 190-191)</p>	<p>○6年の「新しい日本の歩み」の単元では、日本や国際社会を取り巻く課題として、新型コロナウイルスの事例が取り上げられている。(6年 p. 192, 225)</p> <p>○3年の資料は棒グラフが未習でも読み取ることができるよう、絵グラフで表示されている。(3年 p. 33)</p>	<p>○SDGs を通して日本や世界の諸課題への意識が高められるよう、解決するための取組が全学年で32か所設けられている。</p> <p>○UD フォントを用い、見やすい文章となっている。</p>	<p>○どの学年も学び方・調べ方コーナーが充実しており、主体的に学びに向かうことができるよう工夫されている。また各小単元の終わりに「深め合う」活動が漫画形式で表されており、主体的・対話的で深い学びができるようになっている点が優れている。掲載された情報量が若干多く、内容を精選して学習していく必要がある。</p>



## 選 定 に 必 要 な 資 料

【 科目名 地図 】 No. 1

記号	選定に必要な資料の観点						総括
	1. 内容、程度、分量等	2. 教材の選択や構成等	3. 興味・関心への配慮等	4. 教科の特性、地域の実態や課題への適合等	5. 各教科等及び実生活との関連についての工夫	6. その他	
A	<p>○全 102 ページの構成で、ページ数が少ない分、1 ページあたりの情報量が多い。</p> <p>○初めて地図を学習する 3 年生に対応するために、地図帳の使い方やきまり等を漫画などを使って説明している。(p. 7-14)</p>	<p>○資料地図は、多様なテーマが取り上げられており、様々な特徴を考えることができるように整理されている。(p. 67-86)</p> <p>○「日本の地方別の地図」「世界の地図」「資料」という構成になっているが、地図のタイトルの位置がページによって違うため、やや見にくい。</p>	<p>○学習内容と関連した動画があり、地図と実際の映像で土地利用の様子を確認することができる。(p. 35, 42, 48, 51)</p> <p>○土地の高さが陰影をなくした明るい色合いで表現されている。土地利用について、畑、牧草地の多い地域には、地図記号が掲載されている。(p. 51)</p>	<p>○竹島について、地図内には竹島の拡大地図と写真が併記されており、男島と女島の二つの島で構成されていることがよくわかるようになっている。(p. 25)</p> <p>○日本の自然災害について考察できるよう日本列島全体の災害地図を配し、活火山として三瓶山の名が記されている。(p. 98)</p>	<p>○「日本の自然災害」では、日本列島の地図内に近年の台風・大雨・洪水の被害が大きかった場所が記されている。(p. 97-99)</p> <p>○「アフリカ」では多様な動物、「ヨーロッパ」では、様々な料理を紹介しながら、地図と実生活の知識や文化が関連するよう工夫されている。(p. 60, 62)</p>	<p>○「日本の伝統文化」では、歴史的景観や祭り、食文化が掲載されており、国や各地の文化を理解することに役立っている。(p. 81-82)</p> <p>○ユーラシア、北極、アメリカなど、世界の国々を様々な角度から見られるようにしている。(p. 55-66)</p>	<p>○日本の自然・産業・貿易・歴史などの資料地図や各種統計表が充実している点で優れている。</p> <p>○全体的に情報量が多く詳しいが、煩雑に見える部分もあり、もう少し整理されているとよい。</p>
J	<p>○全 132 ページの構成で、日本の地方別に見る地図は、土地の高低と土地利用による色分けを組み合わせる視覚的に内容を捉えやすい地図表現となっている。</p> <p>○すべての文字にルビがふってあり、文字が大きく、行間も広く読みやすい。</p>	<p>○「広く見わたす地図」→日本の各地方を見る地図→世界の地図と配列し、発達の段階に応じて活用度の高い使用学年の配列になるよう配慮している。(p. 21-30)</p> <p>○「江戸時代のむすびつき」では、歴史的な語句と位置を確認できる他に、学習に活用できる参勤交代や江戸をテーマにした地図が掲載されている。(p. 55, 69)</p>	<p>○47 都道府県のデジタル地図では、地形や産業など 8 つの主題図を簡単に表示することができる。また、豊富なデジタルコンテンツがあり、児童の興味に応じて見ることができる。(p. 33-80)</p> <p>○地形のようすを、土地の高さによる色分けとカラーレリーフを組み合わせる表現している。(p. 33-80)</p>	<p>○竹島について、中国地方のページの拡大図で位置を示しながら「日本の領土とそのまわり」では、写真と解説で紹介している。(p. 31-32, 39)</p> <p>○石見銀山については、中国地方の地図で位置を表している他に、「日本の世界遺産」をまとめたページで紹介している。(p. 127)</p>	<p>○「日本の自然災害と防災」では、事例と防災・減災への取組が記され、防災意識をもち自分の行動を考えることができるように工夫されている。(p. 101)</p> <p>○持続可能な社会の実現に向けたSDGsの特設ページが設けられ、各地の取組や課題について理解できるようにしている。(p. 125)</p>	<p>○世界の州別地図やアメリカ合衆国の地図には、自然や文化などの特徴を表したイラストを掲載している。(p. 93)</p> <p>○「日本の世界遺産」では、QR コードに地図とともに全ての世界遺産のカラー写真が掲載されており、視覚的に理解することができる。(p. 127)</p>	<p>○各種地図の配色や文字の大きさなどが読み取りやすく作られている点で特に優れている。また、発達段階や用途に応じて使いやすいう構成になっている点も特に優れている。</p> <p>○地形のようすが捉えやすくなるように、立体感のある地図表現にしている。</p>

## 選 定 に 必 要 な 資 料

【 科目名 算数 】 No. 1

記号	選定に必要な資料の観点						総括
	1. 内容、程度、分量等	2. 教材の選択や構成等	3. 興味・関心への配慮等	4. 教科の特性、地域の実態や課題への適合等	5. 各教科等及び実生活との関連についての工夫	6. その他	
A	<p>○具体的な生活場面から導入を展開している。</p> <p>○つまづいた子どもが解決の見通しをもてるように、子どもの考えのヒントになるような考え方を吹き出しにして示している。</p> <p>○見方、考え方について、虫メガネのマークで明記している。</p>	<p>○導入問題を、図や言葉、式で整理して一般化を図っている。</p> <p>○割合の素地指導に重点を置いて、構成している。</p> <p>(例) 4年上P.113</p> <p>○6年生「データの活用」の学習で、長縄大会の優勝チームを一人ひとりが予想できる構成にすることで、対話が生まれる工夫がされている。</p>	<p>○興味・関心を引き出すオープニングムービーが構成されている。QRコードから、動画を閲覧できる。</p> <p>○子どもに身近なものから、算数を見出し、学習を展開していく工夫がみられる。</p> <p>(例) 5年下 p. 96</p>	<p>○既習を生かして考えることを促すと「同じように考えると」があり、統合的に考えることができるように構成されている。</p> <p>(例) 4年上 p. 84</p> <p>○学習したことを基に、発展的に考えることを促す「それなら」の吹き出しが作られている。</p>	<p>○割合を求めるのに必要な2量を見出すことから学習を展開しており、数学化のプロセスを子ども自ら展開できるようにしている。</p> <p>○「算数で読みとこう」という特設ページが設けられ、実生活に算数を生かして考えられるように構成されている。</p>	<p>○複式の年間指導計画が立てやすいように関連する内容の単元を同時期に実施できるように配置されている。</p> <p>○保幼小の円滑な接続を重視し、1年の教科書では、ブロックを直接置くことができるようになってきている。</p>	<p>○学習内容の系統性が数学的な見方・考え方で整理されており、数学的に考える資質・能力がよりよく育まれる構成となっている。</p> <p>○学習内容が、図や言葉、式で整理して一般化され、子どもにとって分かりやすく使いやすい構成となっている。</p> <p>○問題解決の過程に沿った授業が展開できるように工夫された特に優れた教科書である。</p>
B	<p>○ページの左端に、学習場面が視覚的に捉えられるように矢印を用いて示してある。</p> <p>(例) 4年 p. 135-136</p> <p>○2年生以上の教科書が1冊で構成されており、ふりかえりや学びなおしがしやすいように配慮されている。</p>	<p>○巻頭に、「算数の大切な考え方」のページが設けてあり、各ページの「ひらめきアイテム」と連動している。</p> <p>○知識・技能の定着に向けたプラスワンの特設ページが設定され、QRコードを読み取り、子どもが自分で解答を確認することができるよう工夫されている。</p>	<p>○写真や図を大きく示し、子どもの興味・関心が高まる工夫がされている。</p> <p>○味という感覚的な確からしさを数値化することによって、「同じ味になっているか」という点で、対話的に学ぶことができるように工夫されている。</p> <p>(例) 6年 p. 147</p>	<p>○日常にある割引の場面を考える学習を展開し、基準量を見抜く力を育成する工夫がなされている。</p> <p>(例) 5年 p. 197</p> <p>○言葉、図、式の関連を図って、問題場面の構造を見抜くことができるように工夫されている。</p>	<p>○著名な人物へのインタビューの様子を見開き1ページで紹介し、算数を学ぶ価値を重視している。</p> <p>○めあてに対応するまとめを「発見!」として掲載し、子どもの言葉で学習を振り返るようにしている。</p>	<p>○SDGsに関連する内容を扱い、現代的な課題に対応している。</p> <p>(例) 5年 p. 173</p> <p>○アンプラグドプログラミングとビジュアルプログラミングの両方を用意することで、プログラミ的思考を工夫している。</p>	<p>○算数を活用することや算数を学ぶ価値を子どもが感じとることに重点が置かれている。</p> <p>○知識・技能の定着に向けた問題やQRコードを用いた解答を設け、子どもが自分で学びを進めることができるよう工夫されている。</p>

## 選 定 に 必 要 な 資 料

【 科目名 算数 】 No. 2

記号	選定に必要な資料の観点						総括
	1. 内容、程度、分量等	2. 教材の選択や構成等	3. 興味・関心への配慮等	4. 教科の特性、地域の実態や課題への適合等	5. 各教科等及び実生活との関連についての工夫	6. その他	
D	<p>○6年に別冊をつけている。既習事項を1冊で振り返り、中学校の内容を一部触れられるようになっており、中学校へのスムーズな接続に配慮されている。</p> <p>○既習事項を基に解決の方法を考えたり、答えの見積もりをしたりできるよう、吹き出しを有効に活用している。</p> <p>(例) 2年上 p. 55</p>	<p>○巻頭に、「考え方モニター」のページが設けてあり、それぞれの考え方に名前とキャラクターをつけている。問題解決につながるアイデアを自分で見つけられる工夫をしている。</p> <p>○問題解決につながる作図の手順を動画で確認することができる。</p>	<p>○勝ち負けのあるゲームの公平性を保つことを学習の目的にすることで、子どもが進んで問題解決するように工夫されている。</p> <p>(例) 3年上 p. 102</p> <p>○QRコードを読み取ることによって、導入の問題を動画で子ども一人ひとりが自分で確認することができる。</p>	<p>○めあての言葉が、問いの形で表記され、子どもが考える対象を焦点化されている。</p> <p>○問いを中心にして、学習活動が展開され、問題解決の過程に沿った展開になるように工夫されている。</p>	<p>○身近な問題を解決する PPDAC サイクルを学びを通して、経験できるようにしている。さらに、そのイメージが図で示され、考え続けようとする子どもの育成を目指している。</p> <p>(例) 6年 p. 212-215</p> <p>○「発てん 中学校」というトピックがあり、中学校と小学校の学びの接続が図られている。</p>	<p>○見方・考え方の連続性と系統性を視覚的に捉えられるよう工夫されている。</p> <p>○「算数パトロール隊」というページが単元によっては設けられており、よくある間違いを紹介することで、正しい理解につなげようとしている。</p>	<p>○子どもが既習事項を想起しながら問題を解決することができるように工夫されている。</p> <p>○問いが学習の起点となっており、問題解決の過程に沿った授業を展開できるように工夫されている。</p>
F	<p>○巻末の「学びマップ」には、学年の学習内容をまとめてあり、充実している。</p> <p>○動画の再生速度を選ぶことができ、子どもの実態に合わせて学びを進めることができる。</p>	<p>○学習のまとめに、まとめアニメーションが設けられ、視覚的にも理解が深められるように工夫されている。</p> <p>○数学の見方・考え方を、対話を通して学ぶことができるような、問いを設定している。</p>	<p>○単元の導入問題の前に問いが示されており、何を解決していくのか、見通しをもって学習できるようにしている。</p> <p>○ページ右下に、「算数広場」「もっとやってみよう」など、今、学習していることに対して、さらに興味や関心が広がる内容を紹介している。</p>	<p>○学年始めの単元では、授業モデルを掲載し、問いをつなげる展開を学ぶサイクルに位置付ける工夫がされている。</p> <p>○学年末「算数を使って考えよう」では、全国学力調査をふまえ、学習したことを総合的に活用する問題を掲載している。(2年～6年)</p>	<p>○単元末に、「学んだことを使おう」が設定されており、学んだことを活用して、問題を解決する構成になっている。</p> <p>○「学びの手引き」のページがあり、学年のまとめ問題をするのがえきる。QRコードを読み取り、子どもが自分で解答を確認することができるよう工夫されている。</p>	<p>○右利き、左利き両方の動画が紹介され、どの子どもも学びに向かうことができるよう工夫されている。</p> <p>(例) 4年上 p. 118</p> <p>○3年「表とぼうグラフ」では、実生活の中にある数学的事象を動画で見えて体験を代替することができる。</p>	<p>○作図の手順など、問題解決に向かう手立てがQRコードなどにより丁寧に説明されている。</p> <p>○タブレットを用いて子ども一人ひとりの実態に応じた学習活動を展開するための工夫がみられる。</p>

## 選 定 に 必 要 な 資 料

【 科目名 算数 】 No. 3

記号	選定に必要な資料の観点						総括
	1. 内容、程度、分量等	2. 教材の選択や構成等	3. 興味・関心への配慮等	4. 教科の特性、地域の実態や課題への適合等	5. 各教科等及び実生活との関連についての工夫	6. その他	
K	<p>○全ての主問題で、QRコードから「解説動画」の視聴ができ、自学のサポートのみならず、災害時などの休校時においても、学びの保証ができるようになっている。</p> <p>○複数の解法を示され、問題を多面的に解決していこうとする子どもが育成されるよう工夫されている。</p> <p>(例) 5年p. 147-149</p>	<p>○単元末に「学びのまとめ」のページがあり、理解を深め、発展的に考えることができるよう、工夫されている。</p> <p>○巻頭「考えの進め方」では、前学年で取り組んだ問題解決のプロセスに照らして「数学的な見方・考え方」を整理することができるようになっている。</p>	<p>○仁摩サウンドミュージアム、温州そろばん、出雲大社が掲載されており、島根に関連した教材となっている。</p> <p>○単元導入時に、単元全体を通してためあてが明示され、子どもが見通しをもって学習に取り組むことができるように工夫されている。</p>	<p>○学習の進め方の図が示されており、問題発見・解決の過程を子どもがイメージをもって学習しやすい。</p> <p>○現実問題の解決に向かう行動決定を算数の視点から考えることができるように工夫されている。</p> <p>(例) 4年</p>	<p>○系統性をふまえて、割合の学習が構成されている。数量関係を捉えるための図も工夫されている。</p> <p>○子どもの未来を支える学びとして、「統計」が位置付けられ、子どもが必要感をもって学ぶことができるよう工夫されている。</p> <p>(例) 4年上p. 23-35</p>	<p>○夏休みの前に自由研究のコーナーを設け、見方・考え方を深める活動を例示し、探究活動の楽しさに触れられるよう工夫されている。</p> <p>○表紙は立体的な楽しさを感じられるよう工夫されている。</p>	<p>○全ての主問題で、QRコードから「解説動画」の視聴ができ、自学のサポートのみならず、災害時などの休校時においても、学びの保証ができるようになっている。</p> <p>○単元導入時に、単元全体を通してためあてが明示され、子どもが見通しをもって学習に取り組むことができるように工夫されている。</p>
L	<p>○巻末に、「算数マイトライ」のページがあり、「しっかりチェック」「ぐっとチャレンジ」「もっとジャンプ」と習熟度別に学習を進めることができるよう工夫されている。</p> <p>○練習→わかっているかな→たしかめよう、といった段階が分かりやすい構成となっている。</p>	<p>○ペア対話のモデルをイラストと吹き出しで提示することで、ペア対話を促そうという工夫がされている。</p> <p>(例) 4年下p. 48</p> <p>○「ひょうとグラフ」の単元では、1年生へのプレゼントを題材とすることで、2年生に進級した児童の必要感にせまる工夫がされている。</p> <p>(例) 2年上p. 12</p>	<p>○「次の学習のため」のコーナーでは、QRコードからヒントと答えにアクセスすることができるが、家庭学習でも全学年までの内容を復習できる工夫がされている。</p> <p>○「まとめ」の文が「～できます。」と表現され、何ができるようになったか子どもが自覚できるよう工夫されている。</p>	<p>○3～6年までに、倍の学習を系統立てて構成している。乗法・除法の演算決定の問題が充実しており、倍の意味理解が深まるよう工夫されている。</p> <p>○ブロックの数に着目して、1/3を作る学習が取り上げられ、割合の素地を系統立てて育成する工夫がなされている。</p>	<p>○防災・減災を扱った題材を取り上げ、算数をよりに生かすことができるよう工夫されている。</p> <p>(例) 2年下p. 61</p> <p>○「使ってみよう」では、学習したことを生活の場面に生かし、算数の楽しさや意義を実感できるよう工夫されている。</p>	<p>○問題づくりをすることを通して、加法や減法が用いられる場面とその意味について理解が深まるように工夫されている。</p> <p>(例) 1年②p. 25</p> <p>○5・6年の教科書には教科担任制を想定し、学びの現在地を示す工夫がされている。</p>	<p>○定着のための問題が習熟度により選ぶことができる設定が行われており、子どもが、主体的に学習に向かうことができるよう工夫されている。</p> <p>○何ができるようになるか確かめながら学習を展開することができるような工夫がなされている。</p>

## 選 定 に 必 要 な 資 料

【 科目名 理科 】 No. 1

記号	選定に必要な資料の観点						総括
	1. 内容、程度、分量等	2. 教材の選択や構成等	3. 興味・関心への配慮等	4. 教科の特性、地域の実態や課題への適合等	5. 各教科等及び実生活との関連についての工夫	6. その他	
A	<p>○導入をしやすいよう、各単元の始めに大きな写真を掲載し、児童が問題をつかみやすくなるよう工夫されている。(各学年 単元始め)</p> <p>○内容が精選されており、1ページあたりの情報量を絞ることで、児童に過度な負担がないよう工夫されている。</p>	<p>○表紙に各学年を貫く問いが記載されており、1年間で身につけさせたい力を見通せるようになっている。(各学年表紙)</p> <p>○1年間で学ぶ内容を領域(物化生地)ごとに整理し、児童が各領域のイメージをもてるようになっている。(各学年巻頭)</p>	<p>○モンシロチョウの幼虫の実物の大きさが分かるように、鉛筆で描く活動が取り入れられている。(3年 p. 26)</p> <p>○「物の体積と温度」の導入では鉄道のレールを例に、温度による金属の体積変化を身近な事象に結び付け、児童にとらえやすくしている。(3年 p. 127)</p>	<p>○「流れる水のはたらき」では、斐伊川を取り上げ、児童にとって身近に感じられる内容となっている。(5年 p. 76)</p> <p>○どの学年でも SDG s を意識した内容が巻末に取り上げられており、今日的な課題にも目を向けられるようになっている。</p>	<p>○「理科の世界たんけん部」では、単元のまとめ時に実生活へのつながりを意識することができるようになっている。(4年 p. 105)</p> <p>○「広げよう理科の発想」では、その道のプロの話聞くことができ、より発展的な内容に目を向けることができる。(5年 p. 27)</p>	<p>○どの学年とも既習事項の振り返りができるよう QR コードが配されている。(各学年 p. 3)</p> <p>○感染症対策の面から、チャック付きポリエチレン袋を使い実験方法が工夫されている。(6年 p. 129)</p>	<p>○学びを広げるため、QRコードを各ページに配し、実験の方法や資料映像、話し合いの仕方などを視聴できるようになっている。</p> <p>○実験観察において、朱書きで安全のための配慮事項が分かりやすく明記されている。</p> <p>○以上の理由から特に優れた教科書である。</p>
B	<p>○巻末に次年度で学習する内容が記載されており、次年度を見通すことができる。(各学年巻末)</p> <p>○各学年で育成したい問題解決の見方や考え方をキーワードとして示している。(各学年巻頭)</p>	<p>○身近な道具を実験材料に用い、児童と共に実験観察を行いやすくしている。(4年 p. 19、5年 p. 35)</p> <p>○「音のふしぎ」では糸電話にスパンコールを取り付け、児童が音を視覚的に捉えられるよう工夫されている。(3年 p. 117)</p>	<p>○「しぜんの生き物図鑑」では、QRコードを用い児童が調べやすくする工夫がされている。(3年巻末)</p> <p>○「理科のたまたま箱」では、学習内容を身近に感じられるように内容が工夫されている。</p>	<p>○実生活で活用できる「災害に備えようブック」を作成し、防災意識を高められるようになっている。(5年巻末)</p> <p>○回路の表し方を電気用図記号を使い紹介することに加え、全ての回路を記号で表わすことで、児童が日常的に記号使えるよう工夫されている。(4年 p. 35)</p>	<p>○「理科の学びに役立てよう 他の教科とつなげよう」では、他教科とのつながりを意識できるよう工夫されている。(5年 p. 172、3年 p. 191 など)</p> <p>○各単元で学習内容を生かしたものづくりについて参考例が挙げられ取り組みやすくなっている。(3年 p. 186-187)</p>	<p>○目では見えない空気の様子について図式化することで、児童がイメージを共有しながら学べるようになっている。(4年 p. 45)</p> <p>○「科学者の言葉」として偉人が取り上げられており、児童がこれまでの科学の発展の歴史について触れられるようになっている。</p>	<p>○各学年の裏表紙に各地のジオパークの写真が掲載されており、児童が地形や地質について関心をもちやすくなっている。(各学年裏表紙)</p> <p>○各単元のまとめに学習したポイントを復習できるよう問題が工夫されている。(5年 p. 38)</p> <p>○以上の理由から優れた教科書である。</p>

## 選 定 に 必 要 な 資 料

【 科目名 理科 】 No. 2

記号	選定に必要な資料の観点						総括
	1. 内容、程度、分量等	2. 教材の選択や構成等	3. 興味・関心への配慮等	4. 教科の特性、地域の実態や課題への適合等	5. 各教科等及び実生活との関連についての工夫	6. その他	
D	<p>○「理科モンスター」では、キャラクターを用いその実験や観察における技能を分かりやすく配列している。(各学年巻頭)</p> <p>○比較的サイズが小さいことから1ページあたりの情報量が多い。</p>	<p>○「物の燃え方と空気」では、空気を粒子モデルを用いて示すことで、空気についてより実感をもって学ぶことができるようにしている(6年 p. 22)</p> <p>○巻末にチェック式で実験器具の扱い方が記載されており、安全に配慮できる構成となっている。(各学年巻末)</p>	<p>○3年「風のはたらき」では、1人1人風車を自作することで、全員が実感をもって学習することができるようになっていいる。(3年 p. 110)</p> <p>○水中の音を扱うことでより発展的な興味・関心を深められるようになっている。(3年 p. 94)</p>	<p>○「流れる水のはたらき」では、「ふりかえろ」に斐伊川が取り上げられており、身近に感じることができる。(5年 p. 117)</p> <p>○「冬の天気」(松江市の写真)「大地のつくりと変化」(出雲市の写真)が掲載されており、児童が身近に感じられる題材となっている。(5年 p. 142、6年 p. 153)</p>	<p>○各学年のSDGsの17の目標が掲載されており、単元別に当てはまる項目が分かりやすく示されている。</p> <p>○「もっと知りたい」では、身近な生活と結び付けたり、発展的な実験をしたりして興味を深められるなっている。(6年 p. 61)</p>	<p>○巻末に「科学を知ろう・科学者の言葉」が設けられ、先人の功績について興味を深められるようになっている。</p> <p>○「電気と私たちの生活」では発展的にプログラミングについて紹介し、実際につくることができるようになっている。(6年 p. 196)</p>	<p>○単元配列が他の教科書会社と違いがあるため、科学館学習に影響が出ると考えられる。</p> <p>○各学年の巻末に索引が掲載されており、児童が該当ページを見やすい工夫がされている。(各学年 巻末)</p>
F	<p>○初めて理科を学ぶ3年生に、生活科と理科の違いを分かりやすく説明し、理科学習への意欲を高めることができるようになっている。(3年 p. 2)</p> <p>○身近に見られる植物を図鑑形式で取り上げ、その植物について花の色ごとに分類し、葉の形などを紹介している。(3年 p. 14)</p>	<p>○温度による空気の体積変化をいろいろな方法で確かめられることを紹介し、児童が自分なりの実験方法を工夫できるきっかけとなっている。(4年 p. 133)</p> <p>○「体のつくり」では、表紙裏、p. 33においてパラリンピックの選手を取り上げ、関節のつくりについて解説している。(4年生 p. 33)</p>	<p>○種子の発芽に空気が必要であることを確認するために、エアポンプを使って水中で発芽させる実験を紹介している。(5年 p. 32)</p> <p>○他の動物の呼吸、消化、吸収の仕方も取り上げ、人の体の仕組みについての理解をさらに深め、中学校への学びにつなげている。</p>	<p>○「季節と生き物の変化」では、全国9地点を定点観測し、その写真を掲載することで、地方による季節の変化を示している。(4年 p. 18, 69, 125, 177)</p> <p>○「土地のつくり」では、近隣の地層を取り上げ、児童が身近に感じられるようになっている。(6年 p. 108)</p>	<p>○「国語で学んだ力を生かそう」では、各学年の巻頭において国語科で学んだ力を生かせるような表現の仕方を紹介している。(各学年 p. 5)</p> <p>○身の回りにある電磁石を利用したものを紹介することで、児童が実生活と結び付けられるようにしている。(5年 p. 144)</p>	<p>○裏表紙「理科安全のてびき」では、各学年とも安全の配慮事項が明記されている。(各学年裏表紙)</p> <p>○「人や他の動物の体」では、実物大の体のイラストを掲載し、目では見えない内臓をイメージしやすくしている。(6年 p. 42 - 43)</p>	<p>○各学年において前学年での学びを想起させ、分かったことを確かめることで、当該学年での学びにつなげようとしている。(各学年 巻頭)</p> <p>○各単元別に学ぶことの共通事項を「受けつがれる生命」としてまとめることで、より深い学びになるよう工夫している。(5年 p. 190 - 191)</p>

## 選 定 に 必 要 な 資 料

【 科目名 理科 】 No. 3

記号	選定に必要な資料の観点						総括
	1. 内容、程度、分量等	2. 教材の選択や構成等	3. 興味・関心への配慮等	4. 教科の特性、地域の実態や課題への適合等	5. 各教科等及び実生活との関連についての工夫	6. その他	
K	<p>○「たんけんシート」に昆虫・植物の特徴が図鑑形式でまとめられており、切り取って野外に持ち出せるように工夫されている。(3年 巻末)</p> <p>○各学年、表紙裏では理科の学習の問題解決の流れが図式化されており、児童が学習の流れをイメージしやすくなっている。(各学年表紙裏)</p>	<p>○どの学年でも「季節ごよみ」を記載し、年間の見通しをもって栽培・飼育できるように工夫されている。(各学年 p. 7)</p> <p>○「空気の温度と体積」では、実験にゼリーを用いることで、視覚的に実験結果をとらえやすいよう工夫されている。(4年 p. 117)</p>	<p>○「水のすがた」では、ポップコーンを取り上げることで、既習事項を用いて考える活用問題として、児童の興味・関心を深めることができる。(4年 p. 169)</p> <p>○身近なスナック菓子を取り上げ、酸・アルカリについて児童の興味・関心を高める内容となっている。(6年 p. 112)</p>	<p>○「流れる水のはたらき」では、川の増水によってけずられた地面の様子について江津を取り上げている。(5年 p. 115)</p> <p>○「大地のつくりと変化」では日本を覆った火山灰として松江市を取り上げ、児童が身近に感じられる内容となっている。(6年 p. 132)</p>	<p>○「WITH THE EARTH」では町にある防災・減災への工夫を取り上げ、児童が学習と生活を結び付けてとらえられるように工夫されている。(3年 p. 58 - 59、5年 p. 25, 67)</p> <p>○他教科との関連を捉えやすいように、教科名を明記している。(4年 p. 63, 101)</p>	<p>○各学年で巻頭に理科でのICTの有用性について触れており、授業におけるICT活用へのハードルを低くしている。</p> <p>○4年生からプログラミングを取り上げ、早い段階からプログラミングの基礎に触れることができるようにしている。(4年 p. 153)</p>	<p>○各学年の巻末に「ワクビット」が掲載されており、映像とともにその学年で学んだことを振り返ることができるよう工夫されている。(3年 p. 184)</p> <p>○「理科につながる算数のまど」として、理科で使う算数科の知識がまとめられており、児童が実験結果を正確に集計できるようになっている。(5年 p. 186-187)</p>

## 選 定 に 必 要 な 資 料

【 科目名 生活 】 No. 1

記号	選定に必要な資料の観点						総括
	1. 内容、程度、分量等	2. 教材の選択や構成等	3. 興味・関心への配慮等	4. 教科の特性、地域の実態や課題への適合等	5. 各教科等及び実生活との関連についての工夫	6. その他	
A	<p>○「保護者の皆様へ」としてスタートカリキュラムの意義や内容についての説明がある。</p> <p>○「やってみよう」「やくそく」などの場が右上にイラストで例示してあり、生活の中で、具体的に考えることができ、活動の見通しがもてるように工夫されている。</p>	<p>○まちたんけんマップや探検計画書などの書き方の例が大きく掲載され、見通しをもって学習に取り組むための工夫がされている。</p> <p>○植物の育ちや校庭や町の様子を季節で比較しながら繰り返し紹介することで、気付きの質を高め、学習を深めることができるように構成されている。</p>	<p>○「いきものずかん」や「あきのおもちやずかん」「クイズ」など、児童の興味・関心にあわせて、自ら調べることができる工夫がされている。</p> <p>○見開きの大判のダイナミックな活動写真が取り入れてあり、児童の興味・関心を引き出し、活動意欲を高める工夫がされている。</p>	<p>○「学びをふかめる」コーナーでは、試行錯誤の大切さや疑問に思ったことを尋ねに行く場面があり、学びを深める工夫がみられる。</p> <p>○校外学習の場面では、幼児、高齢者、外国人など様々な人と協働して一緒に思いや願いを実現する活動が掲載され、インクルーシブ教育に配慮されている。</p>	<p>○上下巻とも最後に「かっとうべんりてちょう」が掲載されており、観察の仕方や道具の使い方など繰り返し見返し、参考にすることができる。</p> <p>○国語や算数で学習したことを生かす場面が示してあり、他教科とのつながりを意識することができるよう工夫されている。</p>	<p>○随所に二次元コードが掲載されデジタルコンテンツが活用できる。</p> <p>○育成を目指す脂質・能力を端的な表現とマークで明示し、教師が指導と評価の一体化を意識できるように配慮されている。</p>	<p>○大判の教科書で、写真やイラスト、文字が分かりやすくなっている。</p> <p>○低学年の発達段階を考慮し、児童が学んだことを表現する場面で、多様なICT機器等の表現方法が掲載され、2年間で徐々に活動の質が高まるよう配慮されている。</p> <p>以上のような理由で、当社が特に優れていると判断する。</p>
B	<p>○「きもちマーク」に記入することにより、子ども自身が心の動きを表現することができ、満足感や成就感、自信ややりがいを感じるができるように工夫されている。</p> <p>○二次元コードで、昆虫の動画や遊び方の例が多く示してあり、必要に応じて情報を得られるようになっている。</p>	<p>○人との関わりを中心に春と秋の町探検が繋がるような単元構成になっている。さらに、相手意識をもたせ、表現活動に意欲的に取り組むことができるようにしている。</p> <p>○見開きごとに、児童が見通しをもって活動に取り組むことができるように具体例が示されている。</p>	<p>○「春見つけビンゴカード」は、教科書から切り取って活用でき、児童が興味をもって春見つけを行うことができるようにしている。</p> <p>○モノクロ写真を使用し、想像する楽しさ、実際の色を見て知る楽しさを実感することをおして意欲的に活動できるように工夫されている。</p>	<p>○日本各地の凧やおやつを紹介することで、自分たちが住んでいる地域の文化について、興味・関心をもつことができるように工夫されている。</p> <p>○観察カード等短い文章から、手紙や振り返りカード等長い文章を示すことで、二年間を通して、質や量が高まる工夫がされている。</p>	<p>○「がくしゅうどうぐばこ」、「web がくしゅうどうぐばこ」を掲載し、学び方や多くの資料を紹介することで、学習に活用することができる。</p> <p>○OSDGsの目標を取り上げるなど、自分たちにもできることがあることに気づかせ、考えるきっかけをつくる工夫をしている。</p>	<p>○低学年なりの探究のプロセスがわかりやすく表現され、活動の見通しをもちやすい工夫がされている。</p> <p>○「きらきらことば」や「せいかつことば」が掲載してあると同時に、言語活動例も示され、発達の段階に合わせた語彙の獲得に配慮されている。</p>	<p>○教科書に直接書き込めるように「～したいな」「気持ちマーク」などのコーナーを設けて工夫し、児童の思いを表現しやすくしている。</p> <p>○実生活で活用できるような語彙を増やす工夫がされている。また、手紙や振り返りカードなどの様々な表現活動に生かす工夫がされている。</p>



## 選 定 に 必 要 な 資 料

【 科目名 生活 】 No. 2

記号	選定に必要な資料の観点						総括
	1. 内容、程度、分量等	2. 教材の選択や構成等	3. 興味・関心への配慮等	4. 教科の特性、地域の実態や課題への適合等	5. 各教科等及び実生活との関連についての工夫	6. その他	
D	<p>○下巻P57では、観察記録の一連の流れがあり、児童が活動の見通しがもちやすい。また、記録の書き方を分かりやすく掲載している。</p> <p>○「家の仕事に挑戦しよう」では、教えてもらったことを伝えたり、気付いたことを手紙にしたりする一連の流れがわかりやすく記載されている。</p>	<p>○「ものしりのうと」や「ものしりずかん」では、朝顔の様子などが分かりやすく掲載されている。また、二次元コードから具体的な資料がみられるよう工夫されている。</p> <p>○「まちたんけん」の単元がまとめて掲載されており、見通しをもって活動を計画することができる。(下p. 4-35)</p>	<p>○たくさんできた種や咲き終わった後のツルをどうするのか、児童の思考に合わせた表現方法が掲載されている。(上p. 44, 45)</p> <p>○「生きものと友だち」の単元では、イラストの中にいる生き物の名前をクイズ形式で学ぶ仕掛けがあり、興味・関心をもって学習に取り組めるよう工夫している。</p>	<p>○手作りおもちゃで遊ぶ活動では、人と関わる場面を大切にしたい、具体的な例が写真などで示され、協働的な学びにつながるよう工夫されている。</p> <p>○生き物や植物の名前や写真を数多く掲載しており、教科書を図鑑がわりに持ち運べるようになっている。</p>	<p>○上P58「ものしりのうと」では、みんなで遊ぶ遊びを掲載し、体育と関連させている。</p> <p>○「もっと～したいな」のコーナーでは、専門家の話などを掲載し、学習したことを生かしながら、さらに発展的な学習に取り組めるよう工夫されている。</p>	<p>○「作ってあそぼう うごくおもちゃ」では、廃材を利用して作ることができるおもちゃが紹介されている。</p> <p>○見開き1ページを一つの活動単位とし、主体的・対話的に活動し、伝え合い振り返るといった学びのつながりが分かりやすい。</p>	<p>○「学び方図かん」では、学ぶ力をつけるための「わざ」として、多くの例が紹介されており、実際の場面で活用できるよう工夫されている。</p> <p>○上巻、下巻を通して、児童と一緒に成長していくキャラクターを活用し、友達や周りに関わり合いながら変容し、成長していく姿を明確にしている。</p>
F	<p>○「はじめのいっぽ」では、幼児期の様子をイラストで掲載し、これまでの経験を児童が想起できるとともに教師が幼児期からの学びの連続性を確認できる。</p> <p>○単元の最後に自分の考えやもっと知りたいことなどを書き込むページがあり、教科書に自分の思いを記録することができる。</p>	<p>○「?くん」が学び方をナビゲートし、学び方を自分で見つける構成になっている。</p> <p>○見つける、比べる、たとえる、試す、見通す、工夫するなどの多様な学習活動を「ひんと」で示し、意欲的な活動につながるような工夫をしている。</p>	<p>○二次元コードを読み取ることで「でじたるずかん」を見ることができるようになっており、児童が調べたいことを自分で調べる力を育むことにつながる。</p> <p>○キャラクター「いぐら」や「花ちゃん」「光くん」を設け、児童と同じ目線で一緒に学習できるように設定されている。</p>	<p>○「かぞくにくにこ大さくせん」では、様々な家族形態が紹介されており、家族の多様化について配慮されている。</p> <p>○「のはらのカレンダー」では、季節ごとの植物や生き物を見開きで確認できるよう工夫されている。</p>	<p>○上巻、下巻共に巻末に「学びのポケット」を掲載し、教科のアイコンをつけて関連付けながら、生活科で身につけたい知識や技能の習得を促す配慮をしている。</p> <p>○「はってん」コラムで、他教科や中学年以降の理科や社会科との接続を図る工夫がみられる。</p>	<p>○「ぐんぐんはしご」などで自己評価をし、単元や学期ごとにまとめ、振り返ることで、児童の意欲をより高める工夫がされている。</p> <p>○児童の活動を広げることができるような教師の吹き出しの言葉があり、児童の成長している姿が表れている。</p>	<p>○6つの力「きづく～じしんをもつ」がさいころに記載されている。特に最後の「つたえる」「じしんをもつ」では、児童が学びを振り返る工夫がされている。</p> <p>○各単元のとびらに「わくわくスイッチ」を設けて、思いや願いを大切に学習に向かうための工夫をしている。</p> <p>以上のような理由で、優れていると判断する。</p>

## 選 定 に 必 要 な 資 料

【 科目名 生活 】 No. 3

記号	選定に必要な資料の観点						総括
	1. 内容、程度、分量等	2. 教材の選択や構成等	3. 興味・関心への配慮等	4. 教科の特性、地域の実態や課題への適合等	5. 各教科等及び実生活との関連についての工夫	6. その他	
I	○幼児期からの円滑な接続を図るために、お話作りからスタートする内容になっている。また、幼児期の終わりまでに育てほしい10の姿を掲載し、家庭との連携に活用することができるようになっている。 ○単元の終わりに「もっとやってみよう」のコーナーがあり、児童が学習したことをもとに学びを深める工夫がある。	○ページ右下に「ふりかえろう」のコーナーがあり、児童が振り返りをしやすい工夫がされている。 ○単元扉のページは、児童の豊かな表情が大きく写真で掲載されており、児童が願いをもつことができるよう工夫されている。	○「こんなこともあるかもね」では、多様な考えがイラストで示されており、児童が互いの考えを許容しあい、笑顔になれる内容となっている。 ○ICTの活用の仕方を紹介しながら、興味・関心をもって活動に意欲的に関わることができるように工夫されている。	○各単元の最後に振り返る場面を設け、今の気持ちを書いたり、手紙を書いたりする活動を取り入れ、自分の気持ちを書き表す力を高める工夫がされている。 ○「はなやくさであそぼう」の活動の場面には、「どうすればもっとうまくできるだろう」として考え方のヒントを提示している。	○単元の終末には、「楽しい毎日につなげよう」として、学んだことを生活に生かそうとする意識をもたせる工夫がされている。 ○「ひろがるせいかつじてん」には、単元に即した内容のみならず、汎用的な資料も掲載しており、日常に広く活用することができる。(上下巻末)	○児童の活動例として掲載されている写真では、対話をしている場面が多く、対話を通して気付きを深めることを促す工夫がされている。 ○ヨシタケシンスケ氏の絵と言葉から、児童の興味・関心をかき立てるよう工夫がされている。	○取り外し可能な「ひろがるせいかつじてん」「きせつのなかまたち」がついており、汚れにくく、野外での活動に適した工夫がされている。 ○小單元ごとに学習展開が一目でわかる構成になっていて、児童が意欲をもって、学びを深め、振り返り、次へつながる学びの工夫がされている。
K	○上巻「がっこうだいすきいねんせい」では、幼児期の生活を思い出しながら、安心して小学校生活を送ることができるよう工夫がされている。 ○「あきあそびをたのしもう」では、場づくりやどんなおもちゃを作っているかについて、児童が取り組みやすいよう見開きで示されている。	○ページの端には「もっとなかよくなりたいな」などの言葉が書いてあり、児童の気付きや思いが次の活動につながるように工夫がされている。 ○「できるかな、できたかな？」では、育てたい資質・能力の3つの柱が整理してあり、指導や評価の手掛かりとなるよう構成されている。	○豊かな表現力や、基礎的な知識・技能を身につけるため、「びっくりずかん」「がくしゅうずかん」「デジタルたんけんブック」の3つの図鑑を掲載している。 ○二次元コードが掲載され、クイズや動画を見ることができ、児童が自分で必要な情報を得ることができるよう工夫されている。	○家庭でも生活科の学習に取り組めるようなワークシートが紹介されており、児童が主体的に学ぶことができるよう工夫がされている。 ○命の大切さを感じることができる挿絵を掲載し、自分の身の回りには、たくさんの命があることに気付くことができるよう配慮されている。	○作文を書いたり、身体表現をしたりして、他教科との連携を図ることで、指導の効果が高まる工夫がされている。 ○生き物の育て方について、外来種を飼うときに気を付けることをSDGsも関連させて掲載し、自然環境や生態系保全に気付かせる工夫がされている。	○一年間の流れに沿って振り返りが掲載されており、自分のこととして振り返りやすい。 ○下巻の「ステップブック」では、幼児期や生活科で培った資質・能力を自覚し、3年生への期待感を高め、自信をもって進級できるよう工夫されている。	○板書事項や机の配置などが挿絵によって示されており、授業者が授業のイメージをつかめるように配慮されている。 ○学びの連続性を大切にし、単元の導入、主な活動、振り返りを「わくわく、いきいき、ぐんぐん」という児童にわかりやすい言葉の3段階構成で示している。

## 選 定 に 必 要 な 資 料

【 科目名 音楽 】 No. 1

記号	選定に必要な資料の観点						総括
	1. 内容、程度、分量等	2. 教材の選択や構成等	3. 興味・関心への配慮等	4. 教科の特性、地域の実態や課題への適合等	5. 各教科等及び実生活との関連についての工夫	6. その他	
F	<p>○「共通教材」において、歌の情景を大きな写真で示したり、その曲の背景の説明をしたりして興味関心を高めるための工夫がある。そして、その曲を通して学ぶべき事項が示されている。(3年 p. 40-43)</p> <p>○一つの題材に対して扱う楽曲が絞られており、児童の実態に応じて柔軟的な指導を行うことが可能である。(5年 p. 14)</p>	<p>○「音楽ランド」に魅力的な曲を準備しており、楽しんで学習できるように工夫してある。(2年生 もくじより)</p> <p>○1年の音楽づくりにおいて「簡易的な旋律づくり」(1年 p. 59)から5年の「和音に合わせた旋律づくり」(5年 p. 20)、そして6年の「循環コードをもとにしたアドリブ」(6年 p. 36)まで系統性をもって学習することができるようになっている。</p>	<p>○鑑賞(3年 p. 56)、リコーダー(3年 p. 23)ワークシート(3年 P. 57)など、QRコードで必要な資料を示すことで学習に取り組みやすくなっている。</p> <p>○「音楽のもと」をページ上に示し、児童自身が見つけたことをメモできるスペースがある。(3年 p. 27)</p>	<p>○鍵盤ハーモニカが実寸で提示されており、学習の導入で説明する時、運指の練習など、授業場面に応じた扱いができる。(1年 p. 35)</p> <p>○和音の学習について、5年で学んだことを生かし、6年では循環コードをもとにしたアドリブまで膨らませるなど専門性の高い内容に触れている。(6年 p. 36)</p>	<p>○「ショートタイムラーニング」として英語の歌や九九の歌など、どの学年でも教科横断的に取り組むことができるようにしている。(既習曲を英語で再度提示)(1年 p. 70)</p> <p>○「日本のお祭り」の曲について季節ごとに多数示し、その後世界のお祭りの音楽につなげ視野を広げられるようにしている。(4年 p. 42)</p>	<p>○「音楽を形づくっている要素」を「音楽のもと」として表現し、高学年においては楽譜を使いながら専門性をもって解説をしている。(5年 p. 78)</p> <p>○「学習マップ」で1年間の学習のながれを順序だてて示している。(5年 p. 4)</p>	<p>○「音楽ランド」に楽曲が多数掲載されており、これを扱うことにより、既習事項の再確認や新たな気づきにつながり、音楽への視野を広げたり学習を深めたりすることができるなど、専門性を生かした指導ができる教科書である。(5年、6年とも p. 78)</p>
G	<p>○題材ごとに歌唱、器楽、鑑賞がバランスよく配列されている。(2年 p. 6 もくじ)</p> <p>○学期に1回ずつ「音楽づくり」の題材を示すことで取り組みやすい内容になっている。(2年 p. 6 もくじ)</p>	<p>○教材の配列が学期ごとに示してあり、系統立てて指導しやすくなっている。(4年 p. 6)</p> <p>○「教科書に出てくるしるし、マーク」が全学年共通にあり、児童の学習に向かう思考のながれについて見通しを持たせやすい。(1年 p. 30 うみ等)</p>	<p>○「音楽を形づくっている要素」についてページ下の開きのところに見やすく示してある。(3年 p. 43)</p> <p>○キャラクターの吹き出しの言葉が、学習の見通しやヒントにつながっている。(6年 p. 21)</p>	<p>○地域の芸能が裏表紙に示してあり、特に4年生では「石見神楽」を掲載しており地域への愛着を深められる工夫がある。(4年裏表紙)</p> <p>○3年以上の「音楽づくり」において、終末では伝えあい活動を取り入れ、思いや意図を発表しあう協働的な学習を行うことができる。(6年 p. 31)</p>	<p>○特集として「著作権」や「音楽の持っている力や役割」についての記述があり、音楽と実生活を結び付けているようにしている。(6年 p. 23, 43)</p> <p>○「うたいつごう日本の歌」を特設し、世代を越え家族で音楽を楽しむことができる工夫がある。(4年 p. 70)</p>	<p>○「音楽を形づくっている要素」について「ふり返り」のページで項目ごとに示してあり、扱っている教材のページも示してある。(5年 p. 82)</p> <p>○巻頭に学習内容、発達段階に応じた読み物を掲載しており、音楽への興味関心を深められるようにしている。(3年以上の巻頭等)</p>	<p>○個々の教材に「見つける」「考える」「歌う」など、指導のながれやポイントを分かりやすく示してあり、指導について見通しを立てやすくなっている。(6年 p. 33)</p> <p>○音楽専科でなくても、誰もが同じの水準で指導することができる。そのための題材名の提示、教材配列についての工夫がなされている優れた教科書である。(5年 p. 6, 7)</p>

## 選 定 に 必 要 な 資 料

【 科目名 図画工作 】 No. 1

記号	選定に必要な資料の観点						総括
	1. 内容、程度、分量等	2. 教材の選択や構成等	3. 興味・関心への配慮等	4. 教科の特性、地域の実態や課題への適合等	5. 各教科等及び実生活との関連についての工夫	6. その他	
C	<p>○扉のページに学習のねらい、一年間の題材が示され、児童は学習の見通しと意欲を持つことができる。1年生は、保幼との連続性が示されている。</p> <p>○本書の表題は、その学年で目指す児童の姿が端的に記され、児童と指導者が共通したテーマで授業に向き合える。</p>	<p>○古着を再利用する教材もあり、SDGS の視点を盛り込んだものとなっている。(3・4年上 p.12-13)</p> <p>○アニメーションや動画など、描画だけでなく様々な表現方法について学ぶことができる。</p> <p>○線による表現や墨・針金を使った表現など、抽象的な表現方法も取り上げている。(5・6年上 p.14-15, 下 p.35-39)</p>	<p>○学習のねらいや助言を示すキャラクターにより、児童が意欲をもって表現活動ができる。</p> <p>○各教材欄にQRコードがあり、準備物や授業内容について動画で確認ができる。</p> <p>○各教材に、アイデアシート・作品カード・ふりかえりシートが用意され、発想を深めたり自己評価をしたりできる。</p>	<p>○出雲市の「一式かざり」(5・6年上 p.57) が掲載されており、島根県の伝統文化の良さに気づくことができる。</p> <p>○日本各地の伝統工芸が紹介され、各地域の良さや伝統技法について触れている。3年生以上は、「地域に学ぶ」「地域とつながる」「地域の材料を生かす」をテーマに造形活動を示している。</p>	<p>○他教科との関連学習について具体的な案が示され、教科横断的な視点で学習が構成されている。</p> <p>○学校内だけでなく校外の自然や空間を生かした教材もあり、身近な生活の中に造形表現を見出すきっかけを与えている。</p>	<p>○各教材欄にQRコードがあり、表現のねらいや製作の仕方等について理解して取り組める。</p> <p>○各題材の準備物が、ページ左上にイラストで示され、また巻末に、用具や材料の紹介が記載されており、児童が主体的に準備・製作ができる。</p>	<p>○本書における地元作品の掲載は、本県の良さの再発見に繋がるとともに、図工への興味関心をより高めるものとなっている。</p> <p>○児童の主体的・意欲的な造形活動を支えようとする教科書づくりがされている。また、教師への支援もされている点においても優れている。</p>
L	<p>○1・2年上には、保幼小の連携を意識した、作品や制作活動時の写真が掲載されている。</p> <p>○扉のページに、学習活動と教科書の使い方について、分かりやすく示されている。</p> <p>○「教科書美術館」の項目があり、様々な作品について紹介されており、鑑賞にも力が入れている。</p>	<p>○外国児童の作品や伝統的な作品、地域素材など様々なものが取り上げられており、児童の造形表現への視野が広がるようにしている。</p> <p>○墨と水などを用いた教材や(5・6年下 p.18-19)、焼き物の教材など(5・6年下 p.28-29)、様々な表現方法が学習に取り入れられている。</p>	<p>○各教材欄にQRコードがあり、準備物や授業内容について動画で確認できるようになっている。</p> <p>○掲載されている作品写真に、造形活動の様子が多く盛り込まれているため、児童が活動に興味をもって取り組める。</p> <p>○各教材に対話を中心とした様々な作品鑑賞の仕方が示されている。</p>	<p>○「自然の色」の鑑賞として、浜田市や隠岐の島町の土の色が紹介されており、島根県の地域の各々のよさや特徴に気づくことができる(3・4年上 p.24)</p> <p>○各地の美術館や各地域の取り組み等が紹介されており、地元地域に目を向けるきっかけを与えている。</p>	<p>○他教科との繋がりにしても示されており、教科横断的な視点で教材が選択されている。</p> <p>○扉のページに、保護者の方へのメッセージが記されており、学校と家庭の連携の視点が盛り込まれている。</p>	<p>○各教材欄にQRコードがあり、制作の仕方や作品について、深く学ぶことができる。</p> <p>○巻末に、用具や材料の紹介が記載されており、用具の使い方について分かりやすくまとめられている。</p>	<p>○教科書全体に、楽しそうな活動の様子が多く盛り込まれるなど、児童の興味関心を高める教科書となっている。</p> <p>○国内外の様々な名画がふんだんに紹介されており、図工に関する児童の知識を豊かなものにする工夫がなされている。5・6年上巻末のミニアートカードも、児童に芸術を身近にしている。</p>

## 選 定 に 必 要 な 資 料

【 科目名 家庭 】 No. 1

記号	選定に必要な資料の観点						総括
	1. 内容、程度、分量等	2. 教材の選択や構成等	3. 興味・関心への配慮等	4. 教科の特性、地域の実態や課題への適合等	5. 各教科等及び実生活との関連についての工夫	6. その他	
A	<p>○全題材でデジタルコンテンツとリンクした調理や製作の基礎的な技能の動画がまとめてあり児童が確認しやすい。(p. 17)</p> <p>○製作や調理において、複数の具体例が掲載され、選択できるように工夫されている。(p. 74-77)</p>	<p>○児童の思考を促す問いかけをすることで、主体的に学習を進める意欲がもてるよう工夫されている。(p. 22-24)</p> <p>○各題材で「活動」の内容を順番に行うことで、問題解決的な学習がスムーズに進められるように工夫されている。(p. 28-34)</p>	<p>○各題材の活動1「話し合おう」では、デジタルコンテンツ「思考ツール」を活用し、考えを可視化し主体的に取り組めるように工夫されている。(p. 13)</p> <p>○紙面の下部にそのページの「メモ」を示し、興味・関心を高める工夫がされている。(p. 47)</p>	<p>○調理実習や製作実習等の際の衛生・安全の確認ができるように配慮されている。(p. 29)</p> <p>○夏休み前には、「夏休みわくわくチャレンジ」が設定してあり、学習したことを家庭で実践できるように工夫されている。(p. 35)</p>	<p>○中学校技術・家庭(家庭分野)や他教科と関連のある学習内容を「関連マーク」で示し、関連付けや見通しがもてるように工夫されている。(p. 25, 39)</p> <p>○「あなたは家庭や地域の宝物」では、学んだことを身近な地域や家庭生活で生かすよう工夫されている。(p. 129)</p>	<p>○調理・製作に必要な用具を左手で扱っている実物大の写真や動画があり、左利きの児童に配慮されている。(p. 22, 23)</p> <p>○習得が難しい技能について、イラストで分かりやすく記述されている。(p. 73)</p>	<p>○各題材が「見つめよう」「計画しよう・実践しよう」「生活に生かそう・新しい課題を見つけよう」の流れで構成されており、問題解決的な学習が進められるように工夫され、優れている。(p. 4)</p> <p>○デジタルコンテンツの充実など全ての児童に配慮された優れた教科書である。(p. 22-23)</p>
C	<p>○全題材でデジタルコンテンツとリンクした調理や製作の基礎的な技能の動画がまとめてあり、児童が確認しやすいようにまとめている。(p. 22-23)</p> <p>○製作や調理において、基礎・基本から応用まで系統立てて複数の具体例が掲載され、技能レベルを★の数で明記され工夫されている。(p. 44-47)</p>	<p>○題材が細かく区切れ組み換えがしやすく、地域や学校の実態に応じた指導に配慮されている。(p. 4-5)</p> <p>○題材の初めに「学習のめあて」を示し、終わりに「ふり返ろう」があって教科書に書き込めるよう工夫されている。(p. 10, 19)</p>	<p>○紙面の下部にそのページの「豆知識」を示し、興味・関心を高める工夫がされている。(p. 27)</p> <p>○デジタルコンテンツ内に「動作コンテンツ」を示し、主体的に学習に取り組めるように工夫されている。(p. 19)</p>	<p>○調理実習や製作実習等の際の安全・衛生の確認ができるように配慮されている。(p. 15, 17)</p> <p>○食文化においてしじみ汁(島根県)を紹介し、地域の特色に目を向けることができるように工夫されている。(p. 57)</p>	<p>○小学校で学んだ学習を振り返り、中学校の学習に生かせるように中学校の学習内容が写真やイラストでわかりやすくまとめられている。(p. 136-137)</p> <p>○「共に生きる地域での生活」では、学んだことを身近な地域や家庭生活で生かすよう工夫されている。(p. 129)</p>	<p>○調理・製作に必要な用具を左手で扱っている実物大の写真があり、左利きの児童に配慮されている。(p. 148, 151)</p> <p>○「キャリアインタビュー」のコーナーを設けることで、将来につながるキャリアを紹介し、興味・関心を高める工夫がされている。(p. 16)</p>	<p>○全体を通して「気づく・見つける」「わかる・できる」「生かす・深める」のステップで学習が進められるように設定されており、問題解決的な学習に取り組めるように工夫されている。(p. 6, 7)</p> <p>○実践例や写真等の資料が豊富であり、児童の興味・関心を高める工夫がされている。(p. 26, 27)</p>

選 定 に 必 要 な 資 料

【 科目名 保健 】 No. 1

記号	選定に必要な資料の観点						総括
	1. 内容、程度、分量等	2. 教材の選択や構成等	3. 興味・関心への配慮等	4. 教科の特性、地域の実態や課題への適合等	5. 各教科等及び実生活との関連についての工夫	6. その他	
A	<p>○自分の考えや気づきを記入するノート欄が多くあり、参加型の学習になる工夫がされている。</p> <p>○目次ページに、資料の一覧が掲載されており、内容がとても豊富であり学習を広げたり深めたりできるようになっている。(3・4年 p.2、5・6年 p.1)</p>	<p>○すべての章が4つのステップ(気づく・見つける→調べる・解決する→深める・伝える→まとめる・生かす)で構成され、児童が学習を進める中で考えをもったり整理したりしやすい構成となっている。</p> <p>○各章の導入で、学習内容に沿った身近な場面を写真で示すことで、興味をもって学習を進めることができる構成となっている。</p>	<p>○各章ともデジタルコンテンツが数多く設定されており、学びを広げたり深めたりしやすいように工夫されている。</p> <p>○実験や資料の欄に、写真が掲載されており興味をもちやすい工夫がされている。3・4年 p.20,22)</p>	<p>○各章の最初のページにSDGsの主な目標が示されており、学習を多様な視点から考えたり捉えたりできるようになっている。(3・4年 p.6,26、5・6年 p.4,20,44)</p> <p>○性には多様性があることや手助けを必要とする人と支え合い生活できるためのマークといった現代的な課題が取り上げられている。(3・4年 p.38、5・6年 p.77)</p>	<p>○「飲酒の害と健康」では、20歳になった自分にメッセージを書くことで、学びを自分事としてとらえる工夫がされている。(5・6年 p.67)</p> <p>○犯罪被害の防止として、学級活動や総合の時間を利用して、自分たちの生活や地域に目を向け「インターネットによる犯罪」を考えたり「安全マップ」を作ったりしようという提案がされている。(5・6年 p.34-35)</p>	<p>○どの章でも「スキル」という項目があり、児童が実践化しやすいように工夫されている。</p> <p>○教科書の記述を補う「言葉の解説」が適切に配置されている。</p>	<p>○すべての章が4つのステップ(気づく・見つける→調べる・解決する→深める・伝える→まとめる・生かす)で構成され、児童が学習を進める中で考えをもったり整理したりしやすい構成となっている。</p> <p>○各章ともデジタルコンテンツが数多く設定されており、学びを広げたり深めたりしやすいように工夫されている。</p>
B	<p>○1単位時間見開き2ページを基本とした、統一されたレイアウトや文字のサイズ、おりこみカードなど、学習への集中を高める工夫がされている。</p> <p>○「ここで学ぶこと」で本時の目当てがはっきりと明示され、児童の学習に対する構えができるように工夫されている。</p>	<p>○章の始めに「学習ゲーム」を掲載し、それを通して学習の課題に気づいたり、学習への興味・関心を高めたりできるように工夫されている。</p> <p>○毎時間の始めに、自分の今までの生活を振り返ることで、より自分事として考えやすくなるように工夫されている。</p>	<p>○「体の発育・発達」では、自分の手形を書き写したり、身長伸びをグラフで表したりすることで成長への興味・関心が高められるよう工夫されている。(3・4年 p.25-27)</p> <p>○「夢や目標をかなえるために」は健康であることが大切であることを、著名なスポーツ選手を通して関心をもたせる工夫をしている。(5・6年 p.7)</p>	<p>○「交通事故の防止」では、自動車の内輪差や死角のイラストに子どもを記載することにより、より身近な問題として考えられるよう工夫されている。(5・6年 p.27)</p> <p>○「体の発育・発達」では、子供の成長を祝う行事について紹介し、自分を大切にする気持ちが高められるように工夫されている。(3・4年 p.38)</p>	<p>○「もっと知りたい」「ミニちしき」「はってん」等の資料を多く掲載し、学習内容に関連した学びを広げたり、深められたりできるように工夫されている。</p> <p>○家庭や地域で取り組むとよい活動に「いえで」マークや「ちいきで」マークを付け、学んだことを家庭や地域でも活かせるように工夫されている(3・4年 p.40)</p>	<p>○各単元の最後にある学年のまとめは、既習事項が活用しやすくなるように振り返りや表示、記述方法が工夫されている。</p> <p>○「心の健康」では、ストレッチや「表現運動」「実習コーナー」では、体ほぐし運動や呼吸法を取り上げて実践しやすいように工夫されている。5・6年 p.8-9,18)</p>	<p>○1単位時間見開き2ページを基本とした、統一されたレイアウトや文字のサイズ、おりこみカードなど、学習への集中を高める工夫がされている。</p> <p>○章の始めに「学習ゲーム」を掲載し、それを通して学習の課題に気づいたり、学習への興味・関心を高めたりできるように工夫されている。</p>

## 選 定 に 必 要 な 資 料

【 科目名 保健 】 No. 2

記号	選定に必要な資料の観点						総括
	1. 内容、程度、分量等	2. 教材の選択や構成等	3. 興味・関心への配慮等	4. 教科の特性、地域の実態や課題への適合等	5. 各教科等及び実生活との関連についての工夫	6. その他	
M	<p>○イラストや写真が詳しく分かりやすく示されている。また、説明が簡潔なため、読解が苦手な児童や中学年の児童にとっても、見やすく学びやすい。</p> <p>○毎時間の導入において、保健の見方・考え方を働かせる「課題をつかもう」が設定されており、身近な生活の中から課題を発見できるように工夫されている。(5・6年 p. 24-25)</p>	<p>○学習の流れをステップ①→②→③の構成で統一することで、児童にとっても教師にとっても安心して学習(指導)が進められるように工夫されている。</p> <p>○自分の考えと友達の考えを比較しながら学習を進めることで、より広く深い学びになるように工夫されている。(3・4年 p. 29, 5・6年 p. 49, 59, 67)</p>	<p>○各章の導入において著名人のインタビューを取り入れ、児童が興味・関心をもって「学びのスタートが切れるように工夫されている。</p> <p>○各小単元に、デジタルコンテンツとして「ほけんクイズ」が設定されており、児童がゲーム感覚で楽しみながら学習できるように工夫されている。</p>	<p>○「身の周りのかんきょうとけんこう」では、部屋の明るさの違いを身近な教室の写真で提示することで、より身近に感じられるように工夫されている。(3・4年 p. 20)</p> <p>○「地域の保健活動」では、地域で発行される広報誌を取り上げることで、自分たちの地域に目を向けやすい構成となっている。(5・6年 p. 71)</p>	<p>○上手な歯みがきのポイントの中に、歯間を磨くうえで効果的なデンタルフロスが取り上げられている。(5・6年 p. 60)</p> <p>○児童の健康や安全にかかわる今日的課題が多く取り上げられており、自主学習への活用等が期待できる(5・6年 p. 42, 54, 69)</p>	<p>○見出しや説明なども含め全ての文章が文節で改行されていることに加え、人物イラストの表情が豊かで、児童にとって内容を読み取りやすくなっている。</p> <p>○不安や悩みを和らげる方法について取り上げる中で、「ストレス」という言葉についても詳しく紹介されている。(5・6年 p. 21)</p>	<p>○児童の健康や安全にかかわる今日的課題が多く取り上げられており、自主学習への活用等が期待できる(5・6年 p. 42, 54, 69)</p> <p>○自分の考えと友達の考えを比較しながら学習を進めることで、より広く深い学びになるように工夫されている。(3・4年 p. 29, 5・6年 p. 49, 59, 67)</p>
N	<p>○「病気の予防」では、生活習慣病のリスクと年齢の関係がグラフで分かりやすく示されている。(5・6年 p. 58)</p> <p>○毎時間、学習のめあてや流れが示してあり、見通しをもって学習できるように工夫されている。</p>	<p>○「思春期の体の変化」では、月経のしくみを視覚的に示すことにより、同じしくみが繰り返されるのが理解しやすくなっている。(3・4年 p. 27)</p> <p>○「病気の予防」では、児童にとって最も身近で、取り組みの結果が表れやすい「歯の健康」を4ページにわたって取り上げ、資料も豊富に準備されている。(5・6年 p. 61-64)</p>	<p>○写真を多く掲載することにより児童が興味をもてるように工夫されている。(3・4年 p. 23)</p> <p>○「毎日の生活とけんこう」では、1日の生活リズムについて、「けんこう」「ふけんこう」を明記して例示することで、児童が健康と生活リズムのつながりを意識しやすくなるように工夫されている。(3・4年 p. 8)</p>	<p>○「交通事故の防止」について、各都道府県の交通事故の死者数、負傷者数を紹介することで、自県の実態を知ったり、他県と比較したりできるように工夫されている。(5・6年 p. 26)</p> <p>○バランスの取れた食生活では、食品に含まれる塩分や脂肪の量に着目して、児童が身近に考えられるように工夫されている。(5・6年 p. 59)</p>	<p>○各章の最後に「わたしの〇〇宣言」(自分の宣言を書くページ)が設けられており、学習の最後に生活実践に向けて意識できるように工夫されている。</p> <p>○「もっと考えよう課」では、熱中症対策を掲載し、実生活で意識できるように工夫されている。(5・6年 p. 44)</p>	<p>○毎時間の最後に、理解したことをもとに自分の生活の中でより実践へとつなげていけるように工夫されている。</p> <p>○「もっと考えよう課」では、世界各国の刑を記載するなど薬物の危険性や乱用防止について考えるための工夫がされている。(5・6年 p. 77)</p>	<p>○授業で学びが完結するのではなく、学びを生活とどう結びつけるのか、また、その後の生活にどう生かすのかを意識した構成になっている。</p> <p>○「交通事故の防止」について、各都道府県の交通事故の死者数、負傷者数を紹介することで、自県の実態を知ったり、他県と比較したりできるように工夫されている。(5・6年 p. 26)</p>

## 選 定 に 必 要 な 資 料

【 科目名 保健 】 No. 3

記号	選定に必要な資料の観点						総括
	1. 内容、程度、分量等	2. 教材の選択や構成等	3. 興味・関心への配慮等	4. 教科の特性、地域の実態や課題への適合等	5. 各教科等及び実生活との関連についての工夫	6. その他	
O	<p>○心の健康で人との接し方がとりあげられ、気持ちを大切にされたコミュニケーションや人との距離感について詳しく書かれている。(5・6年 p. 18, 19)</p> <p>○身長伸びの表が縦に書かれていて計算しやすいように工夫されている。(3・4年 p. 25)</p>	<p>○各章の最初に、学習内容と身近な生活をつなぐ漫画を掲載し、学習の必要感がもてるように工夫されている。</p> <p>○写真やイラストから気づいたことを書く欄が設けてあり、健康課題に気づけるように工夫されている。(3・4年 p. 12)</p>	<p>○最初のページに著名な作家とスポーツ選手等の健康についてのコメントを掲載し、児童の健康への興味を引くように工夫されている。</p> <p>○スポーツ障害として児童がなりやすい2つを例としてとりあげている。(3・4年 p. 38)</p>	<p>○実生活において、自分の生活を振り返るために、スクリーンタイムと運動・睡眠時間との関係が示されている。(3・4年 p. 15)</p> <p>○性に関する悩みやホットラインが電話番号だけでなく、より細かく記載されている。(3・4年 p. 33)</p>	<p>○手の洗い方で洗い残しの多い場所やつめの生え際などにも着目している。また、より良い換気の仕方と換気のポイントが図で分かりやすく説明してある。(3・4年 p. 20)</p> <p>○「病気の予防」では、新型コロナウイルス感染症をとりあげ、既習事項を使って予防できることなどを紹介し、実生活に生かせるように工夫している。(5・6年 p. 46)</p>	<p>○最近よく使われている言葉(すいみの質)の解説などを取り入れている。(3・4年 p. 39)</p> <p>○章の終わりに学習のまとめのページを設けており、易しい選択問題や思考を助けるヒントの提示など、考えをもちやすくなるように工夫されている。</p>	<p>○心の健康で人との接し方がとりあげられ、気持ちを大切にされたコミュニケーションや人との距離感について詳しく書かれている。(5・6年 p. 18, 19)</p> <p>○各章の最初に、学習内容と身近な生活をつなぐ漫画を掲載し、学習の必要感がもてるように工夫されている。</p>
P	<p>○悩みの対処法やリラックスの方法について4ページにわたってとりあげている。具体的な記述が多く、児童にとって取り組みやすい内容になっている。(5・6年 p. 20-23)</p> <p>○1単位時間4ページの基本構成とし、3つのピースを完成させるという流れにより見通しをもって学習ができるように配慮されている。</p>	<p>○毎時間の流れを統一し、「個人思考」「集団での思考」「学びの活用」を繰り返すことで、思考力、判断力、表現力を着実に身につけることができるよう工夫されている。</p> <p>○「体の発育・発達」のデジタルコンテンツでは、数値を入力するだけでグラフが完成するなど作業が簡略化され、思考の時間が確保されている。(3・4年 p. 29)</p>	<p>○「体の発育・発達」では、身長伸びを紙テープを切って貼ることで、楽しみながら成長や変化が実感できるように工夫されている。(3・4年 p. 44)</p> <p>○各章の最初に、振り返ったり課題を考えたりすることを通して、楽しみながら学習の課題に気づくことができるように工夫されている。</p>	<p>○「交通事故の防止」では、自動車の内輪差や死角のイラストに子どもを記載することにより、より身近な問題として考えられるよう工夫されている。(5・6年 p. 33)</p> <p>○振り返りシートの中に「もっと学習したいこと」を書く欄が設けてあり、児童が学びを生活に生かしたり結びつけたりにしている。</p>	<p>○各章の振り返り場面では、「誰かに伝えたいと思ったこと」をかく欄が設定されている。(3・4年 p. 26, 46, 5・6年 p. 24, 48, 84)</p> <p>○「つなぐ」では、前後の学年や他教科の学習内容とのつながりを大切にできるよう工夫されている。</p>	<p>○「ほけんのはこ」では、学習内容に関わる様々な資料を提示し、より学びを広げたり深めたりすることにつながっている。(5・6年 p. 11)</p> <p>○ほぼ全ての小単元に「話し合い」場面が設定されており、対話的・共同的な学びへのつながりを意識した構成となっている。</p>	<p>○毎時間の流れを統一し、「個人思考」「集団での思考」「学びの活用」を繰り返すことで、思考力、判断力、表現力を着実に身につけることができるよう工夫されている。</p> <p>○ほぼ全ての小単元に「話し合い」場面が設定されており、対話的・共同的な学びへのつながりを意識した構成となっている。</p>



## 選 定 に 必 要 な 資 料

【 科目名 英語 】 No. 1

記号	選定に必要な資料の観点						総括
	1. 内容、程度、分量等	2. 教材の選択や構成等	3. 興味・関心への配慮等	4. 教科の特性、地域の実態や課題への適合等	5. 各教科等及び実生活との関連についての工夫	6. その他	
A	<p>○5年のテーマは、「日本でつながるわたしたち」、6年のテーマは「世界とつながるわたしたち」となっており、発達の段階に応じた広がりのあるテーマ設定となっている。</p> <p>○各学年の教科書の総ページ数は、5、6年ともに8Unit96 ページである。</p>	<p>○Our Goal の映像を単元導入時に見ることで、単元の見通しをもちながら、児童が学習に取り組めるように配慮されている。(5年 p. 8)</p> <p>○単元末に Over the Horizon を設けて、既習の学習の振り返りと異文化理解を深める資料が工夫されている。(5年 p. 14-15)</p>	<p>○すべての単元で児童の興味・関心を引くトピックや目的・場面・状況を伴った言語活動が設定されている。(5年 p. 84、6年 p. 48)</p> <p>○写真やイラスト、QRコードを使った動画が多用されており、児童がトピックについて興味をもったり、場面を想起したりしやすいよう工夫されている。(6年 p. 12)</p>	<p>○Unit ごとに書く活動、Sounds and Letters のページがあり、表現力を系統的・計画的に身に付けることができるよう工夫されている。</p> <p>○Enjoy Communication では、既習表現の確認、会話の内容を広げる活動、振り返りとスモールステップで学習を進められるよう工夫されている。(5年 p. 12-13)</p>	<p>○身近なことから日本の紹介へと視野が広がるよう「自分のこと→身近な地域→日本のこと」というように単元が工夫されている。</p> <p>○総合的な学習の時間で扱われる「環境問題」と関連した内容が取り上げられ、主体的な学習ができるよう工夫されている。(6年 p. 60-65)</p>	<p>○別冊の Picture Dictionary が2年間続けて使えることや、マイ単語を記録したり、紙面になり単語を調べたりすることで児童の自ら学ぶ力を育む工夫がされている。(別冊 p. 25)</p> <p>○中学校への移行を意識した書く活動が設定されている。(6年 p. 86)</p>	<p>○導入、展開、まとめの中に、無理なく5領域が組み込まれ、また丁寧な日本語表記により、児童も指導者も学習の流れがよくわかるよう工夫されている。(5年 p8-17)</p> <p>○児童が既習内容を生かし、主体的に取り組むことができる目的・場面・状況を伴った言語活動が充実している点で特に優れている。</p>
C	<p>○各学年巻末折込には、単元ごとに観点別の「CAN-DO チェック」が示されており、各単元で身に付けるべき英語表現や技能について見通しをもったり、自己評価したりできるように工夫されている。(各学年 p. 128)</p> <p>○各学年の教科書の総ページ及び Lesson 数は、5、6年ともに8Lesson128 ページである。</p>	<p>○各単元冒頭の見開きには各単元で身に付けたい力が、見開きごとには学習のめあてが明示されており、子どもと指導者が目指す姿を共有しながら、学習に取り組むことができるよう工夫されている。</p> <p>○Let's Check では、身に付けた力をペーパーテストとパフォーマンステストの両方で確かめることができるよう工夫されている。</p>	<p>○Let's Watch and Think や Song Box 等児童が自らの課題に応じて学習できるよう、デジタルコンテンツが充実した内容になっている。</p> <p>○各単元で児童の興味・関心を引くゲームが複数示されている。また、デジタルコンテンツの利用できるよう工夫されている。(5年 p. 52)</p>	<p>○Let's watch and think や Around the world では、世界の子どもの生活や文化などを紹介し、異文化への理解を深め、自他を尊重する態度を養えるよう工夫されている。(5年 p. 32-33)</p>	<p>○すべての単元において学習と関連する SDGs の項目が示されており、子どもの視野を広げるとともに、持続可能な社会の担い手育成が意図されている。(6年 p. 23)</p> <p>○評価領域・観点、他教科や教育課程との関連について単元冒頭に記載されている。(5年 p. 15、6年 p. 15)</p>	<p>○別冊 Word book が学年ごとについており、2次元コードがついており、自主的に学びやすいように工夫されている。</p> <p>○各学年で学んだ表現についてまとめられており、児童が学習を振り返りやすいよう工夫されている。(巻末)</p>	<p>○「3・4年で学習したこと」や「5年生で学習したこと」や「授業で使える20の表現」がまとめられており、学習の連続性が感じられるよう工夫されている。(5・6年 p. 8-11)</p> <p>○聞くことから話すこと、そして読むことのサイクルを意図した構成となるよう工夫されている。(5年 p. 20-21)</p>

## 選 定 に 必 要 な 資 料

【 科目名 英語 】 No. 2

記号	選定に必要な資料の観点						総括
	1. 内容、程度、分量等	2. 教材の選択や構成等	3. 興味・関心への配慮等	4. 教科の特性、地域の実態や課題への適合等	5. 各教科等及び実生活との関連についての工夫	6. その他	
E	<p>○教科書の総ページ及びLesson数は、5・6年ともに7Lesson112ページである。</p> <p>○教科書全体が3つのUnitでまとめられており、各Unitは自らのゴールの設定するHOP、語句や表現を身に付けるSTEP、まとめの言語活動をおこなうJUMPで構成されている。</p>	<p>○各Lessonは、Partごとにめあてが示されLet's watchからLet's Watch and Read &amp; Writeが基本構成になっており、インプットの活動から文字を読む、書く活動へと学習が段階的に高まるよう工夫されている。</p>	<p>○各Lesson後に、既習内容をゲームを通して確認できるFun Boxが設定され、文字への関心を高める工夫がされている。(5年p.22-23)</p> <p>○各Unit後に、世界の民話が英語の紙芝居になっており、児童が興味関心をもって英語の表現に触れる工夫がされている。</p>	<p>○各学年の巻末、「英語でこんなことができた!」では、簡易的なCAN-DOリストが示され、具体的にその学年で身に付けた内容が振り返ることができるよう工夫されている。(各学年p.110)</p>	<p>○国語、社会、算数、プログラミングなど他教科等と関連した様々な題材・活動やSDGsなど今日的な課題について示されている。(5年p.106-107)</p>	<p>○Tryの2次元コードを利用して児童が個別に音声や画像、映像などの情報にアクセスすることができ、自学自習や家庭学習などの多様な学びにつながるよう工夫されている。</p>	<p>○単元全体のつけたい力に向かって、活動ごとの目標を達成しながら力をつけていく構成になるよう工夫されている。</p>
F	<p>○各学年の教科書の総ページ及びLesson数は、5年9Lesson116ページ、6年8Lesson108ページである。</p> <p>○教科書冒頭には、学びの見通しが立てやすいロードマップがあり、中学年や高学年そして、中学校への学びの連続性を自覚できるつくりになっている。</p>	<p>○学校生活に合ったテーマや活動を多く取り入れることで、楽しく学べ、仲間づくり、学級づくりにつながるよう工夫されている。(5年p.30-36)</p>	<p>○各Lessonのゴールが児童の意欲を高めたり、具体的に活動をイメージしたりすることができるように工夫されている。</p> <p>○活動シール、カード、ワークシートなど巻末教材が充実しており、児童の表現意欲を引き出すことができるよう工夫されている。(各学年巻末)</p>	<p>○既習内容を振り返るLet's Start Togetherやアルファベットの学習に関する点つなぎなど、文字や音声に少しずつ慣れ親しみ、ステップアップできるよう工夫されている。</p> <p>○各単元末にあるSounds and Lettersでは、アルファベットの文字や音に少しずつ慣れ親しめるよう工夫している。</p>	<p>○災害時の対応に関する表現が紹介されており、実生活につなげた練習ができるよう工夫されている。(5年p.40)</p> <p>○Let's Look at the Worldでは、アメリカの手話を扱っており、コミュニケーションの手段は多様であることに気付くよう工夫されている。(5年p.87)</p>	<p>○日本の名所・名物を示した地図が折り込みで入り、見やすいよう工夫されている。(5年p.66-69)</p>	<p>○わかりやすい活動を通して、関わり合いを大切にしながら学習できるように工夫されている。</p> <p>○インクルーシブ教育を意図した登場人物や題材が扱われている。(5・6年表紙、6年p.10-11)</p>

## 選 定 に 必 要 な 資 料

【 科目名 英語 】 No. 3

記号	選定に必要な資料の観点						総括
	1. 内容、程度、分量等	2. 教材の選択や構成等	3. 興味・関心への配慮等	4. 教科の特性、地域の実態や課題への適合等	5. 各教科等及び実生活との関連についての工夫	6. その他	
I	○各学年の教科書の総ページ数は、5・6年ともに8Unit110ページである。 ○5年から6年へと発達の段階に応じた広がりのあるテーマ設定となっている。	○各Unitごとに導入が具体的な場面設定がしており、児童がイメージをもって学習に取り組める構成となっている。 ○Small Talk や Plus One が既習表現を生かし、豊かな言語活動ができるよう工夫されている。(5年 p.31)	○日本の文学作品とつなげたり、楽しんで文字に親しんだりすることができるような工夫がされている。(5年 p.78)	○巻頭に「5(6)年生でできるようになること」では、領域ごとに学習したことが確認できるよう工夫されている。(全学年 p.8-9) ○各ページに英語が表記されており、自然に英語を目にする機会が確保されている。	○「言葉について考えよう」などで国語などの教科との関連が図られている。(6年 p.60)	○写真やイラストが多用されており、児童が内容を推測しやすいよう工夫されている。 ○6年の巻末のカードが1年の学習をまとめ、中学校での自己紹介に生かせるよう工夫されている。	○単元の最初のページに最終ゴールとそれぞれの時間の主活動が明記され、各単元の見通しが持てるよう工夫されている。(5年 p.81) ○互いの考えや気持ちを伝え合う言語活動が設定され、相手を意識したやり取りができるよう配慮されている。(6年 p.81)
K	○1 単元時間の内容が余裕をもって指導できる分量になっている。 ○各学年の教科書の総ページ数は、5・6年ともに8Unit132ページである。	○学期ごとにREVIEWが設定され、コミュニケーション活動を通して「聞く・話す」「読む・話す」などの技能統合的な学習ができるように工夫されている。	○Activity では、具体的に児童が取り組んでみたくなるような活動が設定されている。 ○Did you know?などでは、異文化情報などを扱い、児童の興味・関心を高められるよう工夫されている。(5年 p.44, 44)	○Unit ごとに Let's Read and Write が設定され、児童がたくさんアルファベットや単語を書いたり聞いたりすることができるよう工夫されている。 ○各Unitの領域ごとにCAN-DOリストが示しており、具体的にその学習で身に付けた力を振り返る工夫がされている。	○国語、社会、算数など他教科等と関連した様々な題材・活動やSDGsなど今日的な課題について示されている。(6年 p.48-49)	○Chant で強く発音するところがわかりやすく示しており、児童がリズムに乗せて発話練習しやすいよう工夫されている。	○児童が個別に学習できるように、各ページにデジタルコンテンツが数多く用意されている。(5年 p.13 6年 p.41)

## 選 定 に 必 要 な 資 料

【 科目名 特別の教科道徳 】 No. 1

記号	選定に必要な資料の観点						総括
	1. 内容、程度、分量等	2. 教材の選択や構成等	3. 興味・関心への配慮等	4. 教科の特性、地域の実態や課題への適合等	5. 各教科等及び実生活との関連についての工夫	6. その他	
A	<p>○「かぼちやのつる」では道徳的価値に迫る場面でイメージがしやすいようなイラストとセリフで道徳的価値について深く考えられようとしている。(1年 p.78)</p> <p>○「見えた答案」では、人物の心情を説明する文言が削減され、児童の多様な考え方を引き出せるよう配慮されている(5年 p.19)</p>	<p>○「安全・安心」「情報モラル」「いじめ」「いのち」「じぶん」という5つのユニットが、各学年ともに構成されており、道徳科の学習で扱う教材を要として、現代的な課題に取り組むことが工夫されている。</p>	<p>○全教材で、朗読や字幕付きスライドショー、デジタルノートが利用できるQRコードがついており、児童の関心を高めるよう工夫されている。</p> <p>○低学年の教材を中心に大判の写真やパズル等児童の興味を引くような教材を扱っている(1年 p.46, 82)</p>	<p>○出雲市出身の児童が書いている本を取り上げた「愛華さんからのメッセージ」では、児童の興味を高めている。</p> <p>○高学年の「いじめ」について考えようでは、法律、条令を掲示し、児童の見方や考え方を広げるよう教材の配置等が配慮されている。(6年 p.36)</p>	<p>○「ふっかちゃんの町じまん」では日本各地のキャラクターも紹介されており、自分の県に興味をもち、社会科等と関連させて学習できるよう工夫されている。(3年 p.20)</p> <p>○「終わらない挑戦」では環境問題について取り上げ、社会科や理科と関連で付け発展的な学びを促す工夫がある(6年 p.138)</p>	<p>○自分の考えを可視化する「こころメーカー」が全学年で利用でき、児童が多様な考えに気づくための配慮がある。</p>	<p>○「安全・安心」「情報モラル」「いじめ」「いのち」「じぶん」という5つのユニットが、各学年ともに構成されており、道徳科の学習で扱う教材を要として、現代的な課題に取り組むことが工夫されている。</p> <p>○全教材でデジタルコンテンツが利用でき関心を高める工夫がされている。</p> <p>※特に優れている</p>
F	<p>○内容項目を充足する本教材30本の他、4～5本の補充教材が掲載されており、学校独自のカリキュラムが作れるよう工夫されている。</p> <p>○高学年の教材に出てくる難しい言葉の多くについて、直接教材文の下に目立つように注釈を設けてあり、ふりがなとあわせて、内容が理解しやすいように配慮されている。(6年 p.8)</p>	<p>○教材末の学習の手引きには、場面発問と特に考えてほしいテーマ発問が示されており、考え、議論する道徳授業が実現するように工夫されている。(6年 p.23)</p> <p>○各学年とも役割演技や動作化に取り組むように投げかけたり、自分だったらどうするかと問いかけたりと、課題について自分事として考えられるよう工夫されている。(3年 p.56)</p>	<p>○今話題の人物を多数とりあげ、児童の興味・関心を高めるように工夫されている。特に高学年で生き方から学ぶことができるよう工夫されている。</p> <p>○5・6年の教材には、写真やグラフ、図表などを多く使い、興味・関心を高めるよう工夫されている。(5年 p.107, 113, 6年 p.139)</p>	<p>○各学年に問題解決的な学習の例が設定されており、体験を通して人としての行動について考えを深められるよう工夫されている。(6年 p.83)</p> <p>○低学年の巻末に「みにつけようれいぎ・マナー」の資料が掲載されており、身につけていきたいよりよいふるまいについて紹介されている。(1年 p.150, 3年 p.148)</p>	<p>○各学年で重点テーマを設定し、「教材＋コラム」の構成をユニット化し、学びを広げることができるようにしている。(4年 p.20, 24)</p>	<p>○巻末の「学習を振り返ろう」「一年間の学習を振り返ろう」のページは、切り離せるようになっており、学期ごとの評価、一年間の評価に活用できるよう工夫されている。(4年巻末)</p>	<p>○高学年の教材に出てくる難しい言葉の多くについて、直接教材文の下に目立つように注釈を設けてあり、ふりがなとあわせて、内容が理解しやすいように配慮されている。(6年 p.8)</p> <p>○LGBTQについて考えるきっかけとなりうる教材を配しており、偏見をもたず、差別をしない心の育成に配慮がされている。(6年 p.50)</p> <p>※優れている。</p>

## 選 定 に 必 要 な 資 料

【 科目名 特別の教科道徳 】 No. 2

記号	選定に必要な資料の観点						総括
	1. 内容、程度、分量等	2. 教材の選択や構成等	3. 興味・関心への配慮等	4. 教科の特性、地域の実態や課題への適合等	5. 各教科等及び実生活との関連についての工夫	6. その他	
I	<p>○「学びの道具箱」で発達の段階に応じた対話や思考の整理の方法を紹介するとともに、それらを活用した学びが提示され、児童が多面的・多角的に思考したり対話したりできるように工夫されている。(3～6年巻末)</p> <p>○巻頭で道徳の学びの全体像をイラストで示し、一年間の学びの見通しや関心をもたせている。</p>	<p>○「心をかよわそう」などのページがあり、話し合いの仕方や友達との接し方を学べるよう工夫されている。(3年P. 34、6年p. 78)</p> <p>○段階的に話し合いの力を育ていけるよう、対話スキルを高める活動に繰り返し取り組むように構成され、高学年では対話をもとに納得解を見出す経験ができるように工夫されている。(5年p. 164)</p>	<p>○全学年で美しく迫力のある挿絵や写真を用いた教材や漫画形式の教材が掲載され、視覚的に関心を喚起するよう工夫されている。(3年p. 118)</p> <p>○「夢を実現するためには」では、夢を叶えた大谷選手が夢の実現のためにしたことを具体的に掲載し、児童も共感的に学習できるよう工夫されている。(5年p. 16)</p>	<p>○日本語に不慣れな児童の支援となるよう、「学校で使う日本語」を文字と音声で確認できるデジタルコンテンツが利用できるようになっている。</p> <p>○3年以上の巻末に、日本各地の伝統文化や地域の活動が紹介され、自分の住む地域のよさを追究しようとする発展的な学びの助けとして活用できるようになっている。(3年p. 174)</p>	<p>○情報モラル等に関するコラムには「家の人といっしょに考えてほしいこと」のマーク、環境や共生を扱ったコラムには「夏休み・冬休みに調べてみよう」のコーナーがあり、家庭・地域での自主的な学びにつながる工夫がある。</p> <p>○「わたしたちの校歌」では、音楽や国語などができよう工夫されている。(4年p. 88)</p>	<p>○全学年を通して「なんだろうなんだろう」(ヨシタケシンスケ作)という見開きのページを設け、発達の段階に合わせたテーマで考えを深めることができるよう工夫されている。(3年p. 86)</p>	<p>○思考ツールや対話スキルを活用することで、多面的・多角的に考え、協働して問題解決に取り組めるように工夫されている。(3年p. 58、4年p. 180)</p> <p>○迫力あり美しい写真や挿絵をダイナミックに配し、児童の関心を高めたり、感性に訴えたりする効果を生み出すよう工夫されている。(3年p. 38、5年p. 63)</p> <p>※優れている。</p>
L	<p>○必ず見開きで始まるように教材が配置され、教材の内容に集中しやすいように配慮されている。</p> <p>○標準の35時間分の教材に加え3～4橋座が収められており、児童の実態に合わせて入れ替えて指導できるように工夫されている。</p>	<p>○教材名の後に、リード文と登場人物が示されており、教材内容の理解を助け、関心を高められるように配慮されている。</p> <p>○複数教材で「ぐっと深める」が設定され、問題可決的な学習や体験的な学習など様々な手法を取り入れた展開が例示され、自分の考えを深めたり話し合ったりする学習活動が示唆されている。(1年p. 74)</p>	<p>○デジタルコンテンツによって、話し合い、役割演技や体験などについて、具体例を示した動画を視聴することができ「考え、議論する道徳」が視覚的に捉えられるよう工夫されている。</p> <p>○「のび太に学ぼう」では、児童に親しみのあるキャラクターのすてきな面をみることで自己の生き方を考えるよう工夫されている。(5年p. 6)</p>	<p>○3年の「心のベンチ」の「地域を語ろう」では、6つの視点で地域を見つめ、素敵などころを見いだす活動が提示されており、ふるさとのよさに目を向けられよう工夫されている。(3年p. 149)</p> <p>○いじめを間接的・直接的に扱った教材を組み合わせたいじめ防止ユニット「人との関わり」が各学年で3つ配置されている。</p>	<p>○各学年の「心のベンチ」のコーナーには、本教材とは異なった角度から問題を考える素材が例示され、児童の見方、考え方を広げることができるよう配慮されている。(5年p. 140)</p> <p>○巻末「見つけた！ここにもどうとく」には、各学年で扱った内容項目と関連する写真が掲示され、生活とつなげて考えられるよう配慮されている。(3年p. 166)</p>	<p>○「道徳ノート」が別冊としてついている。題材ごとに自分の感じたことや考えたこと自由に記述できるように配慮されている。</p>	<p>○いじめを間接的に扱った教材と直接的に扱った教材を組み合わせたいじめ防止ユニット「人との関わり」が各学年で3つ配置されている。</p> <p>○「道徳ノート」が別冊としてついている。題材ごとに自分の感じたことや考えたこと自由に記述できるように配慮されている。</p> <p>※優れている。</p>

## 選 定 に 必 要 な 資 料

【 科目名 特別の教科道徳 】 No. 3

記号	選定に必要な資料の観点						総括
	1. 内容、程度、分量等	2. 教材の選択や構成等	3. 興味・関心への配慮等	4. 教科の特性、地域の実態や課題への適合等	5. 各教科等及び実生活との関連についての工夫	6. その他	
O	<p>○巻頭のオリエンテーションでは、見通しをもって道徳を学べるように、問いを見つけ、考えを深め、授業後に広げていく一連の学習の流れを紹介している。</p> <p>○標準の35時間（1年は34時間）に加え、1年は6本、2～6年は5本の付録教材を掲載し、児童の実態に合わせて入れ替えて指導できるように工夫されている。</p>	<p>○情報モラルを、すべての学年で取り扱っており、1年でスマホについて扱うなど、実態に対応した内容になっている。（1年 p. 46）</p> <p>○「すてきなことば『あふたあゆう』」「一年生のお世話係—アフター・ユ—」では、同じ活動について視点を変えると、学年をまたいで取り上げる構成になっている。（1年 p. 76、6年 p. 10）</p>	<p>○一枚絵大きな写真、漫画、実話に基づく教材など、意欲・関心を高める工夫がされている。</p> <p>○デジタルコンテンツでは、関連資料や音声、教材理解サポートのための画像等の他に、教材に登場する人たちからのメッセージを視聴することができ、児童の関心を高めるように工夫されている。（5年 p. 122）</p>	<p>○「シンボルマークにこめられたものは」では、島根県の県章がとりあげられ、地域への関心を高めている。（5年 p. 48）</p> <p>○全学年の重点主題「いじめを生まない心」と「情報モラル」について、各学年に応じた内容で継続的に学ぶことができるように工夫されている。（3年 p. 17-23）</p>	<p>○「へこんでも立ちなおる」を全学年に設けて、児童自身が自分の心について考え、自分の良さや可能性を認識し、自己肯定感を高める工夫がされている。（3年 p. 104）</p> <p>○各教材末の「ひろげよう」では、道徳家で学んだことを他教科、家庭や学校での生活、地域社会でのつながりをもたせ広げていくためのポイントを示している。</p>	<p>○巻末の自己評価シート、低学年は顔の表情で、3年以上は矢印で自分の心の中を表現し、3年以上はコメントも添えた記録を蓄積していくことで、自分の成長を実感し、新たな目標を見いだせるよう配慮されている。</p>	<p>○情報モラルを、すべての学年で取り扱っており、1年でスマホについて扱うなど、実態に対応した内容になっている。（1年 p. 46）</p> <p>○巻頭のオリエンテーションでは、見通しをもって道徳を学べるように、問いを見つけ、考えを深め、授業後に広げていく一連の学習の流れを紹介している。</p> <p>※優れている。</p>
P	<p>○「いのち」を最重点テーマとして全学年で3教材を配置し、「いのちのユニット」で複数教材を組み合わせて多面的・多角的に考えさせている。（5年 p. 35）</p> <p>○「森のみんなと」では、だれの言葉かわかるようセリフの上に登場人物の名前が書いてあり、内容理解がしやすいよう配慮されている。（3年 p. 20）</p>	<p>○教材本文以前には、キーフレーズのみが掲示され、児童が見いだした問いをもとに学習をできるように配慮されている。</p> <p>○教材末は、道徳的価値について考える発問や自己を振り返る発問に絞って掲載されており、精選された発問、内容となるよう配慮されている。</p>	<p>○多くの人物を取り上げて様々な生き方に触れて興味・関心を高めながら自己を深める構成にしている。</p> <p>○ユニット内に、次の教材を紹介するキャラクターの掲示があり、テーマを意識して教材に出会えるように工夫されている。（5年 p. 97）</p>	<p>○「いのち」「多様性」「キャリア」の3つのテーマのユニットを配置して、多面的・多角的に考えを深めることができるように工夫されている。</p> <p>○「ないものはない」では、島根県海士町を教材として取り上げ、島根県のよさと関連付けて学習できる内容となっている。（4年 p. 76）</p>	<p>○「心のパスポート」の特設ページでは、様々な視点から、他教科と関連する情報や実生活と関連させて考えを広げる工夫がされている。</p> <p>○日本各地に関連のある教材や資料では、写真を多く取り入れて児童の関心を高め他教科に関連させて学習できる内容となっている。（6年 p. 124）</p>	<p>○巻末「つなげよう広げよう」のページがあり、心にのこった話や出来事を振り返ったり、次の学年の自分へのメッセージを書いたりできるようになっている。</p>	<p>○「いのち」を最重点テーマとして全学年で3教材を配置し、「いのちのユニット」で複数教材を組み合わせて多面的・多角的に考えさせている。（5年 p. 35）</p> <p>○教材本文以前には、キーフレーズのみが掲示され、児童が見いだした問いをもとに学習をできるように配慮されている。</p> <p>※優れている</p>